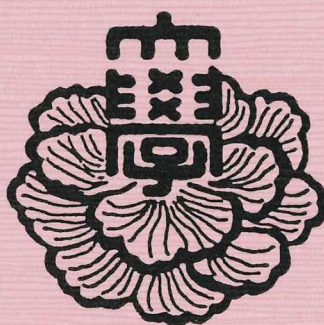


ISSN 0286-5890

弘前大学保健管理概要

第40号



2019年

弘前大学保健管理センター

目 次

巻 頭 言：弘前大学保健管理センター所長	高 梨 信 吾	3
I 報 告		
大学生のパーソナリティ認知を考慮に入れた学生相談		
The student counseling considered in student's personality perception		
弘前大学保健管理センター	田名場 美 雪	5
II 平成30年度保健管理業務報告		
1. 保健管理センター年間行事		13
2. 保健管理センター業務対象学生及び職員数		15
3. 学生の健康診断		16
4. 職員の健康診断		25
5. 教育学部附属学校定期健康診断受検状況		34
6. 保健管理センター月別利用状況		35
III 平成30年度カウンセリング報告		37
IV 保健管理センター概況		39
V 衛生管理者等名簿		41
編集後記		43

巻 頭 言

弘前大学保健管理概要40号をお届けします。

「労働」とはなんのでしょうか？ 日本人は働くことに意味を求め、労働＝善ですが、労働＝罰と考える国もあるようです。

さて、2018年に「働き方改革関連法」が可決され、昨年2019年4月より施行となりました。その3つの柱は、将来おこるであろう労働人口の減少に備え、①長時間労働の是正、②正規・非正規の不合理な処遇差の解消、③多様な働き方の実現、を目指しています。これらを実現するために、長時間労働には上限が設けられました。特別な事情があっても月100時間未満と定められました。ただし、「医師」については特例が認められており、詳細は決まっていない部分もあります。

大学の働き方はどうあるべきでしょうか、教官は現在裁量労働となっています。好き勝手に働けるのかというと、そんな訳でもなく、労働時間は大学側で管理しなければならないことになっています。その方法は、自己申告や、勤務時間の開始、終了をカードで電子管理をするなどの方法があります。問題は労働時間をどう考えるのかですが、大学にいる時間なのか、どこまでが仕事で、自己研鑽の時間はどのかなど、解決されていない事柄も多くあります。別の問題として、研究時間があります。研究者が自ら行う研究時間を制限できるのでしょうか？制限してよいものなのでしょうか？ 答えの出ない問題です。

最近、非常に興味ある論文を目にしました。医学雑誌 BMJ (British Medical Journal) に投稿、あるいはそのレビューをした12万件以上を対象に、それらが何曜日の何時に提出されているのかを調査し、国別にまとめたものです。こんなものでも論文になるのかと驚きましたが、その論旨は、どの国の研究者が、土日や夜間に研究活動をしているのか検討することです。勤務時間外に提出された国の1位はどこだったのでしょうか？ 日本と思われるかもしれませんが、日本はもちろん時間外の提出、weekendの提出が多かったのですが、一番多かったのは中国でした。多くの方が指摘しているように、世界における一流雑誌への日本からの投稿が減少し、中国からの論文が増加しています。中国の論文が急増している背景には、このような時間外労働も関係しているようです。一方、仕事時間内に提出されているのは、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、北欧諸国でした。

日本も成熟した研究環境になってくれることを、産業医として切に期待します。

令和2年1月

弘前大学保健管理センター所長

高 梨 信 吾

I 報 告

大学生のパーソナリティ認知を考慮に入れた学生相談

The student counseling considered in student's personality perception

田名場 美雪

(弘前大学保健管理センター)

大学生のパーソナリティ認知について、自由記述による性格特性語にどのような変化があるかを検討した。その結果、①表面的な対人関係の存在の大きさ、②自分の外見が与える印象を重要視している、③いいか悪いかといった単純な判断基準に頼る可能性がある、④親しみやすい快活さを重視している、という傾向をあげることができた。以上を踏まえ、学生相談に際しては、特に、学生のもつ外見印象へのこだわりや一般的評価バイアスを考慮に入れる必要があることを提案した。

-
- 1 はじめに
 - 2 パーソナリティ
 - 3 方法
 - 4 結果と考察
-

キーワード：学生相談， パーソナリティ認知

1 はじめに

学生相談の内容は多岐にわたっている。たとえば2017年度の当センターのカウンセラー業務報告¹を参考に相談分類を事例数の多い順にあげると、「性格・心理・行動」「生活全般」「対人関係」「学業」「進路」「精神疾患」「コンサルテーション」となっている。それぞれの内容を次に説明する。「性格・心理・行動」とは、大学入学・就職活動開始・卒業直前といった分岐点あるいは何らかのトラブルをきっかけに、人生観・価値観や自分の性格について考えてみたいという相談である。「生活全般」の相談内容としては、経済的な問題や、大学生としての時間の使い方、アルバイトの探し方・辞め方などをあげることができる。そして、友人や恋人、課外活動の仲間や教員との「対人関係」、勉強の進め方がわからない、あるいは意欲がわからないといった「学業」、卒業後進学するか就職するか迷っているといった「進路」の相談がある。また、他者の視線がこわい、自分が異臭を放っているのではないかという症状を治療しながら学生生活を送る方法についての相談である「精神疾患」、自分のことではなく、友人や恋人、あるいは家族が抱えている問題についての相談である「コンサルテーション」がある。

学生相談は、目前の問題解決のみを目的とするのではない。なぜならば、大学は学業・研究の場であるのみならず、対人関係の場であり、どのような大人になっていくかを模索していく進路の場である。さらに、課外活動も含め大学との関わりが増えていく学生にとっては生活の場でもある。学生相談の目的について、鶴田（2001）²は次のように整理している。

- ① 学業・対人関係・進路などにおいて直面する様々な問題への心理的な援助を行うこと。

- ② 多くの学生は子どもから大人への移行期にあり、問題や課題に直面することは成長の好機でもある。問題への取り組みによって、発達や成長を支えるための援助を行い、見守ること。
- ③ 一時的な混乱や心理的障害のために生活に困難が生じることもある。心の健康への援助を行うことであり、また学生がこのような困難をもちながら学生生活を送ることができるようにすること。

学生相談の目的から考えると、「性格・心理・行動」「生活全般」「対人関係」「学業」「進路」といった相談が多いことは、学生相談の特徴を反映したものであることがわかる。学生相談は、具体的な心配事や不安を解決するだけでなく、来談者である学生が何を行い、事態をどのように感じているのか、自分や他者をどのように感じているかという体験の内容と、その背景となる本人なりの信念体系をみつかるものである。学生の体験や信念体系はきわめて個人的なものである一方で時代と共に変遷するものであろう。

本論では、パーソナリティについての信念体系の変遷について探索的に検討していく。

2 パーソナリティ認知

私たちは、自分自身や交流のある周囲の人たち、初対面の人たちのパーソナリティについて、「あの人は〇〇的だ」であるとか、「この人は△△の傾向がありそうだ」など、自分なりの枠組みに照らし合わせて判断や評価をしている。

パーソナリティ認知研究の領域では、私たちはパーソナリティについて、自らの過去経験などを土台とした素朴な信念体系をもっており、これをもとに様々な情報処理を行い、自分自身や他者のパーソナリティの全体像を形成すると言われている。つまり、現実生活場面において、私たちが自他のパーソナリティを判断・評価する場合、目の前にいる対象人物のパーソナリティそのものを正確に反映させているというよりも、むしろ、個々人があらかじめ保持している自分なりの認知カテゴリーに基づいて自分自身や他者のパーソナリティを理解しているということである（Cronbach, 1955³⁾）。

このような特徴をもつパーソナリティ認知の構造についての代表的な知見を一つ紹介する。林（1978）⁴⁾は次に示すような「個人的親しみやすさ」「社会的望ましさ」「力本性」という基本的3次元があるとしている。

1. 個人的親しみやすさ（好感・親和などの社会・対人評価）

あたたかさ、温厚性、やさしさ、親近性、愛想の良さ、人なつっこさ、明朗性など

2. 社会的望ましさ（尊敬・信頼などの知的・課題関連の評価）

誠実性、道徳性、良心性、理知性、信頼性、堅実性、細心さ、など

3. 力本性（意志の強さ + 活動性）

外向性、社交性、積極性、自信の強さ、意欲性、大胆さ、粘着性、など

この基本3次元は、20項目からなる共通尺度の評定から得られ、大学生を対象とした従来の研究（林・大橋, 1983⁵⁾；大橋, 1984⁶⁾；田名場, 1993⁷⁾；廣岡, 1997⁸⁾）により、1980年代から1990年代まで安定的に抽出されてきていた。

しかし、2000年代になってからのパーソナリティ認知構造は、次のような変化を見せている（田名場ら, 2009⁹⁾）。

- ①「社会的望ましさ」「個人的親しみやすさ」は安定して抽出される可能性が高い。特に「社会的望ましさ」の次元は安定している。
- ②「力本性」は、そのままの意味のまとまりとしては抽出されにくく、「活動性あるいは積極性」と「おだやかさ」の2つの次元に分離している。そして、その分離した「活動性あるいは積極性」は「個人的親しみやすさ」と融合し、「快活な親しみやすさ」となる場合もある。
- ③以上のことから、大学生のパーソナリティ認知構造は、次の2つパターンに変遷してきている可能性がある。

可能性その1：「個人的親しみやすさ」「社会的望ましさ」「活動性あるいは積極性」「おだやかさ」の基本4次元となっている。

可能性その2：「快活な親しみやすさ」「社会的望ましさ」「おだやかさ」の基本3次元となっている。

前掲の田名場ら（2009）⁹では、自由記述による性格特性語（自他のパーソナリティや人柄、性格を考えたり口にしたりにする際に用いることば）の検討も行っている。その結果、「やさしい」「明るい」「おもしろい」といった性格特性語の出現頻度は一貫して高く、先に述べたパーソナリティ認知次元のうち、「積極性あるいは快活さ」「個人的親しみやすさ」に関連することが示唆されている。

本論では学生の用いる性格特性語を手がかりに、学生が自分や他者のパーソナリティをどのような視点で捉えようとしているのか、2009年の調査結果と比較しながら探索的に検討していく。そして、学生のパーソナリティについての信念体系を考慮に入れた学生相談のポイントを考察したい。

3 方法

1) 手続き

2019年度一般教養の講義受講者85名（男性56名、女性29名）を対象に、講義の一環として記名式の質問紙調査を実施した。10語の性格特性語（ふだん自分や他者について考えたり口にする際に用いる言葉）の提出を求めた。なお、調査用紙の配布・回収共に講義時間内に行った。これにより、365語の性格特性語を得た。

比較検討のためのデータは、2009年度講義（教養科目）の講義受講者52名（男性18名、女性34名）を対象に、同様の手続きで得られた516語の性格特性語である。

2) 分類基準

性格特性語の分類にあたっては、次に示す青木（1974）¹⁰による分類基準A～Dを参考にした。この分類基準は古めかしい感は否めないが、貴重で示唆に富んだものである。

A 頻度と程度を表現する用語

頻度：いつも、かなり、たまに、絶対ない、等々（「ありえない」はここに分類される）

程度：最高の、完全に、だいたい、普通、最低の、最悪の、等々

B 印象語

親しみやすさ：明るい、あたたかみのある、意地悪そうな、かわいい、うさんくさい、近寄りにくい、魅力的、等々

外見印象：あかぬけた、あつくるしい、ごつい、汚い、さえない、若々しい、等々
 内面評価：あれた、おっとりした、こっけい、ずぶとい、とらえどころのない、等々
 成熟度：青臭い、味のある、色気のある、幼い、しぶい、病弱な、等々

C 評価語（賞賛や非難のために使用される）

程度評価：ありきたり、一流の、ずばぬけた、まあまあ、満点、等々
 知的評価：あさはか、アホ、賢い、話にならない、等々
 危険と粗悪：悪、いかがわしい、しぶとい、邪悪、不潔、等々
 弱さ・だらしなさ：大人げない、くだらない、半人前、厄介者、等々
 身勝手・調子の良さ：厚かましい、おべっか使い、ずるい、ふてぶてしい、等々
 腹立たしさ・その他：頭にくる、いやな、にくらしい、ばかげた、目ざわり、等々

D 適切な表現用語（個人の性格特徴を正確に描き出すための形容語）

礼儀正しさ、おだやかさ、社交性、親切、活動性、手堅さ、頭のよさ、身勝手、激し易さ、内気、冷たさ、根気のなさ、軽率、頭の悪さという14のカテゴリーからなる（表1、参照）。

表1 適切な評価語一覧

カテゴリー	内 容
礼儀正しさ	素朴で気どりが無い。誠実に物事にあたり控えめで実際以上に見せたりはしない。たしなみがあり、出すことがなく、比較的寡黙。
おだやかさ	バランスがとれていて安定感があり、のんびりとした動作をするようにもとれる。物静かにゆったりとふるまい、立腹することが少なく、事が起きても落ちついた行動をする
社交性	何があってもめいったり重苦しくならない。苦しくても朗らかで笑顔。つきあいがよく誰とでも気軽に応対し、人と一緒にいるのが好き。話好きで人をよく笑わせる。
親切	親しみやすく温かい感じで人に接する。人間味があり、他人の立場に立って細かい心配りをする。献身的で同情心があり、困った人には積極的に力を貸す。
活動性	生き生きと情熱的に動き回る。きかん気もあり躊躇しない。おそれを知らず、自由奔放。なんでもやってみたがるが時に気負いの強さが出すぎる。
手堅さ	行動に綿密な計画性があるが地道に実行する。几帳面で整理が行き届き、用意周到であれこれと心配りする。警戒心も強く、うかつに事はこぼさない慎重さがある。
頭のよさ	経験があり視野が広く、考えに柔軟性をもつ。カンがはたらき機敏に物事を処理する。発想も独自で有益な関連づけをする。指導性や分別もある。
身勝手	いい気になって優越感をもち、知ったかぶりのはつたりが多い。都合が悪いとごまかし、饒舌。自己主張が強く自説を曲げず、うまくゆかないとひねくれ、しつこい。
激し易さ	苛立ちやすくやる事が乱暴。かんしゃくが爆発してじっとこらえることができない。自己中心的で選り好み強く、いやなことだとすぐ反発的になる。見栄を張り気取る。
内気	行動が受け身でふんざり悪い。自分のことを外に表さない。引っ込み思案、気が弱く過敏すぎて安定感がなく、不必要に照れたり恥ずかしがったりする。孤独で気が弱く、人とあまりなじめない。
冷たさ	不人情で弱い者いじめをする。人のいうことを素直にとらず、何をするにもケチをつけ、独善的。悪意をもつ手、わざといやがらせをする。話し方は一方的で容赦なく、相手を痛める。
根気のなさ	忍耐力に乏しく、やっても途中で投げげる。気が変わりやすく三日坊主で最後までやり通さない、ちょっとした障害ですぐくじけ、自分のものとして取り組まない。働きかけが少なく形式的。
軽率	気が変わりやすく行動自体に落ち着きがなくよく失敗する。早のみこみで不注意な行動が多い。無鉄砲で限度をわきまえず思慮に欠ける。物事の処理に計画性はなくその場限り。
頭の悪さ	考え方が固く新しいことになかなか慣れない。発想に新奇なものなく常識的で、問題解決が形式的。視野が狭く、先のことは考えず、誤りが多い。

次に分類の流れを示す。「D 適切な表現用語」を最優先とし、D に分類されなかった性格特性語を「A 頻度と程度を表現する用語」「B 印象語」「C 評価語」のいずれかへと分類していった。たとえば「明るい」という性格特性語は「B 印象語」にも「D 適切な表現用語（社交性）」にも分類可能であるが、「D 適切な表現用語（社交性）」を優先し採用することとする。

4 結果と考察

性格特性語のうち出現頻度の高い上位20語を表2に示す。なお、表中の※は分類不能を意味する。

表2の上位5語を見てみると、2009年度では「優しい」「面白い」「明るい」「かわいい」「かっこいい」、2019年度では「かわいい」「かっこいい」「面白い」「優しい」「うるさい」であり、ほぼ似通った内容となっている。

表2 出現頻度の高い性格特性語（20位まで）

2009年

性格特性語	分類	頻度
優しい	親切	41
面白い	社交性	25
明るい	社交性	23
かわいい	（印象語：外見印象）	23
かっこいい	（印象語：外見印象）	15
うざい	（評価語：腹立たしさ）	14
いい人	※（一般的評価バイアス）	13
きれい	（印象語：外見印象）	12
まじめ	礼儀正しさ	10
元気	活動性	9
こわい	冷たさ	9
楽しい	社交性	9
おとなしい	おだやかさ	8
しっかりしている	手堅さ	8
頭がいい	頭のよさ	6
つめたい	冷たさ	6
細い	（印象語：外見印象）	6
おしゃれ	（印象語：外見印象）	5
キモイ	（評価語：腹立たしさ）	5
頼りになる	礼儀正しさ	5

2019年

性格特性語	分類	頻度
優しい	親切	34
かわいい	（印象語：外見印象）	33
かっこいい	（印象語：外見印象）	31
面白い	社交性	26
うるさい	（評価語：腹立たしさ）	13
すごい	※（一般的評価バイアス）	11
やばい	※（一般的評価バイアス）	11
明るい	社交性	10
きれい	（印象語：外見印象）	8
楽しい	社交性	7
明るい	社交性	7
暗い	内気	6
うざい	（評価語：腹立たしさ）	6
まじめ	礼儀正しさ	5
おとなしい	おだやかさ	5
あたたかい	親切	5
ネガティブ	内気	5
ごつい	（印象語：外見印象）	5
小さい	（印象語：外見印象）	5
美しい	（印象語：外見印象）	5

さらにこの結果を要約するために、性格特性語そのものではなく、提出された性格特性語を先の分類基準にしたがったカテゴリーの出現頻度で見ると（表3参照）、[印象語：外見印象] [社交性] [親切] が共通して出現していることがわかる。

「かわいい」「かっこいい」「面白い」「明るい」「優しい」といった性格特性語の出現頻度が高いことは何を意味しているのだろうか。出現頻度の高さは、自他のパーソナリティ認知への影響の大きさを示唆するものである。そして、これらはプラスのイメージに結びつきやすい言葉であることを考えると、外見が良くて快活でやさしいというプラスイメージを形成したいという意図の表れと推測できる。

次に分類カテゴリーで検討する。

[印象語：外見印象] が上位であることの意味を考えてみる。私たちが他者イメージを作るとき、最初に手がかりにするのは、外見であり、対人関係形成の初期段階には大きな手がかりとなる要因である。そして対人関係の進展にしたがって、考え方や信念や行動などにおける相手との共通点や相違点といった要因が重要になってくる。このような対人関係進展の観点から考えると、[印象語：外見印象] が上位にあるということは、進展しない対人関係、表面的な対人関係の存在が大きいことが想定される。あるいは自分自身がどのように見られたいのか、自分自身がどのように見られているのかといった意味での外見へのこだわりも想定できよう。先にあげた田名場ら（2009）⁹における、2001年、2006年、2007年の結果（表4、参照）と比べても、[印象語：外見印象] の比重が以前よりも高くなってきていることがわかる。このことから、学生にとっての外見の重要性が増してきていることがうかがえる。

次に[社交性] [親切] が上位にある意味を考えてみる。先に述べたように大学生のパーソナリティ認知構造において、「社会的望ましさ」「個人的親しみやすさ」は安定的に抽出される傾向にある。[社交性] [親切] はこの2つの認知次元を反映したものであると推測できる。

[一般的評価バイアス]が多いことも特徴的である。目の前の他者を細やかに見ていくというよりも、「いいか悪いか」に代表されるようなおおざっぱな、あるいはシンプルな判断枠組みの存在を意味している。

大学生の信念体系の一部であるパーソナリティ認知について、自由記述による性格特性語から検討を試みた。大学生のパーソナリティ認知の特徴として、①表面的な対人関係の存在の大きさ、②自分の外見が与える印象を重要視している、③いいか悪いかといった単純な判断基準に頼る可能性がある、④親しみやすい快活さを重視している、をあげることができる。

以上から、学生相談に際しては考慮すべき点を二つあげることができる。まず第一に、外見印象の取り扱いである。学生たちが重要視している外見について、共に考えていく必要があるだろう。どのような外見がどのような印象・評価を与えると感じているのか、外見に関連して学生の望む対人関係の進展度はどのようなものなのか、注意を払う必要があるだろう。第二に、一般的評価バイアスの存在である。このことは、物事を効率よく単純にとらえようとする傾向、複雑性への耐性の低さを意味している可能性がある。自他をめぐる問題は単純ではない場合の方が多いことを考えると、単純化して考えたい傾向は問題解決の阻害要因になることが予想される。

学生相談に際しては、学生のパーソナリティについての信念体系を理解した上で、丁寧に言葉を重ね成長を促す道を探ることが重要になると考える。

表3 出現頻度の高いカテゴリー（10位まで） 1

2009年		2019年	
カテゴリー	頻度	カテゴリー	頻度
(印象語：外見印象)	61	(印象語：外見印象)	129
社交性	57	社交性	61
親切	41	親切	42
(評価語：腹立たしさ)	19	※（一般的評価バイアス）	40
礼儀正しさ	15	(評価語：腹立たしさ)	37
冷たさ	15	頭のよさ	20
※（一般的評価バイアス）	13	内気	15
活動性	9	冷たさ	15
手堅さ	8	礼儀正しさ	12
おだやかさ	8	活動性	12

表4 出現頻度の高いカテゴリー（10位まで） 2

2001年		2006年		2007年	
カテゴリー	頻度	カテゴリー	頻度	カテゴリー	頻度
社交性	809	社交性	78	内気	24
親切	521	親切	42	根気のなさ	21
礼儀正しさ	276	※（一般的評価バイアス）	21	社交性	14
身勝手	132	冷たさ	15	激し易さ	12
(印象語：親しみやすさ)	128	頭の悪さ	11	※（マイペース）	8
激しやすさ	121	(印象語：外見印象)	11	親切	7
内気	106	頭のよさ	8	身勝手	7
おだやかさ	89	身勝手	6	礼儀正しさ	6
根気のなさ	74	根気のなさ	5	軽率	5
手堅さ	54	手堅さ	5	手堅さ	3

¹ 弘前大学保健管理センター 2018 弘前大学保健管理概要 39

² 鶴田和美 2001 大学教育を支える学生相談 鶴田和美（編）「学生のための心理相談」培風館，241-245

³ Cronbach, L.J. 1955 Processes affecting scores on "understanding others" and "assumed similarity". Psychological Bulletin, 52, 177-193.

⁴ 林文俊 1978 対人認知構造の基本次元についての一考察 名古屋大学教育学部紀要（教育心理学科），25, 233-247.

⁵ 林文俊・大橋正夫・廣岡秀一 1983 暗黙裡の性格観に関する研究（I），実験社会心理学研究，19, 9-25.

⁶ 大橋正夫 1984 「対人関係の社会心理学」 福村出版

⁷ 田名場美雪 1993 暗黙のパーソナリティ論に関する研究 —「暗黙のパーソナリティ論」の臨床への応用可能性をめぐって—，岩手大学大学院人文社会科学研究科研究紀要，1, 165-183

⁸ 廣岡秀一・山中一英 1997 対人認知次元の構造的変化に関する縦断的研究 実験社会心理学研究，37, 37-49.

⁹ 田名場美雪・田名場忍 2009 大学生のパーソナリティ認知の再検討, 弘前大学保健管理概要, 30, 5-13.

¹⁰ 青木孝悦 1974 「個性表現辞典：人柄をとらえる技術と言葉」 ダイヤモンド社

Ⅱ 平成30年度保健管理業務報告

平成30年度

1. 保健管理センター年間行事

月	行 事	内 容	対 象	備 考
4 月	職員特殊健康診断	末梢血，問診票	電離放射線取扱者（看護部異動による新規対象者）	第 1 回
	AED 講習会	AED 講習	留学生	
	幼児・児童・生徒定期健康診断	※後記載	附属学校園（幼・小・中・特別支援）	
5 月	学生定期健康診断	全学生：検尿，血圧，身長，体重測定 新入生：胸部レントゲン，視力，各科検診（内科・皮膚科・眼科・耳鼻咽喉科）	全学生	第 1 回
	学生特別定期健康診断	1. AST・ALT，HBs 抗原・抗体，HCV 抗体 2. AST・ALT，HBs 抗原・抗体，HCV 抗体，末梢血，問診票 3. 末梢血，問診票	1. 保健学科（看護学 2 年，検査技術科学 3 年），保健学科 3 年編入生 2. 保健学科（放射線技術科学 3 年／3 年編入学生） 3. 保健学科（放射線技術科学 4 年） RI 実験室立入学生 医学科 2 年・2 年次編入生	
	職員特殊健康診断（外注）	各取扱物に対する受検項目	有機溶剤・特化物・電離放射線取扱者	
	職員特定業務従事者健康診断	問診票，体重，血圧，検尿，視力，聴力	深夜業務従事者（看護師，週 1 回以上の宿直該当者），病原体・ホルムアルデヒド・エチレングリコールを扱う業務従事者	第 1 回
6 月	学生検尿再検	早朝尿又は夕食後尿	定期健康診断検尿要再検者（二次検尿）	
	職員肺がん検診	1. 問診票（喫煙指数含む） 2. 喀痰細胞診	1. 40歳以上の全職員 2. 保健管理センター所長が必要と認めた者	
	学生等心電図検査	心電図	1. 附属学校（小 1 年，中 1 年）特別支援学校（小 1 年，中 1 年，高等部 1 年） 2. 大学新入生・編入生，心電図要経過観察学生	
7 月	職員心電図検査と血液検査	心電図，AST，ALT， γ -GT，中性脂肪，HDL コレステロール，LDL コレステロール，クレアチニン，貧血検査，血糖，腹囲測定	35歳と40歳以上の職員（文京町地区 7 月、本町地区 9 月に実施）	
	職員 VDT 検診	VDT 作業従事者	2. VDT 作業従事者および視力測定該当者	
9 月	女子職員子宮頸癌検診	内診，細胞診，卵巣エコー	全女子職員希望者	
	学生健康診断結果配布	定期健康診断等の結果を個人通知	新入生全員，定期健康診断等受検者	第 2 回
	AED 講習会	AED 講習	留学生	

月	行 事	内 容	対 象	備 考
10月	学生特別定期健康診断	1. 末梢血, 問診票 2. AST・ALT, HBs 抗原・抗体, HCV 抗体	1. 保健学科 (放射線技術科学 3 年, 4 年) RI 実験室立入学生 保健学科 (放射線技術科学 2 年) 2. 保健学科 (理学療法学, 作業療法学) 2 年	第 2 回 第 2 回
〃	職員一般定期健康診断 (兼特定業務従事者健康診断)	胸部レントゲン, 検尿, 血圧, 身長・体重・BMI, 視力, 聴力, 問診	全職員 (本町地区10月、文京町地区11月に実施)	第 2 回
	職員大腸癌検診	便中 Hb	40歳以上の職員	
	総合文化祭	救護班		
11月	職員特殊健康診断 (外注)	各取扱物に対する受検項目	有機溶剤・特化物・電離放射線取扱者	第 2 回
〃	季節性インフルエンザワクチン接種	ワクチン接種依頼に応じて実施	医学部学生希望者, 職員 (医療関係)	
	職員ストレスチェック		全職員	
	AO 入学志願者試験	救護班		
12月	季節性インフルエンザワクチン接種	ワクチン接種依頼に応じて実施	学務部職員 (入試担当) 希望者	
	職員胃がんリスク検診	HP 抗体, ペプシン・ゲン	40歳以上職員希望者	
	学生特別定期健康診断	AST・ALT, HBs 抗原・抗体, HCV 抗体, 末梢血	医学科 4 年, HB ワクチンを接種した医学科 5・6 年	
1 月	大学入試センター試験	救護班		
2 月	入学試験 (前期)	救護班		
	職員 C 型肝炎検査	HCV 抗体	今まで検査をしたことがない者のうち希望者	
3 月	入学試験 (後期)	救護班		
	職員 B 型肝炎検査	AST・ALT, HBs 抗原・抗体	HB ワクチン接種者, 来年度 HB ワクチン希望者	
	学生定期健康診断	検尿, 血圧, 身長・体重測定, 胸部レントゲン	保健学科 4 年 (理学・作業療法学) (4 月から実習で受診できないため)	

健康診断証明書
健康相談
応急処置

— 随時

※ 幼児・児童・生徒定期健康診断検査項目

1. 身長及び体重
2. 栄養状態
3. 脊柱及び胸部の疾病及び異常の有無並びに四肢の状態
4. 視力及び聴力
5. 目の疾病及び異常の有無
6. 耳鼻咽喉頭疾患及び皮膚疾患の有無
7. 歯及び口腔の疾病及び異常の有無
8. 結核の有無
9. 心臓の疾病及び異常の有無
10. 尿
11. その他の疾病及び異常の有無

備考

左記の検査項目のうち幼稚園は 8 を除く項目を実施。
10 は附属学校園すべて保健管理センターで実施。
8 は小・中学校は問診票にて実施し, 特別支援学校高等部は胸部レントゲン実施。
小・中学校の 2, 3, 5, 6, 9, 11 は附属病院等にて実施。

2. 保健管理センター業務対象学生及び職員数

大学

平成30年5月1日現在

学 部	性別	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	計
人文社会科学部	男	129	137	141	235			642
	女	145	134	129	178			586
教育学部	男	65	77	80	121			343
	女	108	100	94	151			453
医 学 科	男	60	87	99	71	83	76	476
	女	55	72	53	42	41	42	305
保健学科	男	66	68	65	68			267
	女	138	135	138	140			551
理工学部	男	312	311	309	280			1,212
	女	63	55	59	50			227
農学生命科学部	男	136	130	125	132			523
	女	85	89	90	81			345
計	男	768	810	819	907	83	76	3,463
	女	594	585	563	642	41	42	2,467
合 計		1,362	1,395	1,382	1,549	124	118	5,930

大学院

平成30年5月1日現在

学 部	性別	1年次	2年次	3年次	4年次	計
人文社会科学研究科	男	8	7			15
	女	14	19			33
人文社会科学研究科 (秋季入学)	男	3				3
	女	1				1
教 育 学 研 究 科	男	14	19			33
	女	18	34			52
医 学 研 究 科	男	33	37	47	49	166
	女	9	21	18	30	78
医 学 研 究 科 (秋季入学)	男	4				4
	女	1				1
保 健 学 研 究 科 博士前期課程	男	22	24			46
	女	10	18			28
保 健 学 研 究 科 博士後期課程	男	10	4	9		23
	女	4	6	12		22
理 工 学 研 究 科 博士前期課程	男	87	94			181
	女	15	12			27
理 工 学 研 究 科 博士前期課程 (秋季入学)	男	1				1
	女	1				1
理 工 学 研 究 科 博士後期課程	男	10	7	7		24
	女	4	1	2		7
理 工 学 研 究 科 博士後期課程 (秋季入学)	男	5				5
	女	2				2
農学生命科学研究科	男	29	36			65
	女	21	20			41
農学生命科学研究科 (秋季入学)	男	1				1
	女	2				2
地 域 社 会 研 究 科	男	5	4	20		29
	女	2	5	5		12
計	男	232	232	83	49	596
	女	104	136	37	30	307
合 計		336	368	120	79	903

職員

平成30年10月1日現在

部 局	性別	職員数	35歳と40歳以上	40歳以上
事 務 局 ※	男	178	125	120
	女	154	102	94
人文社会科学部	男	61	54	51
	女	23	17	17
教 育 学 部	男	129	102	98
	女	97	77	75
医 学 研 究 科	男	178	144	140
	女	145	100	87
保健学研究科	男	75	51	50
	女	55	35	35
医学部附属病院	男	354	151	136
	女	838	381	361
理工学研究科	男	112	98	97
	女	20	14	14
農学生命科学部	男	95	80	78
	女	30	19	19
計	男	1,182	805	770
	女	1,362	745	702
合 計		2,544	1,550	1,472

※学内共同施設等を含む

教育学部附属学校 平成30年5月1日現在

学 校	性別	児 童 ・ 生 徒 数
小 学 校	男	272
	女	280
中 学 校	男	240
	女	244
特別支援学校	男	39
	女	14
幼 稚 園	男	37
	女	36
計	男	588
	女	574
合 計		1,162

3. 学生の健康診断

(1) 定期健康診断受検率及び結果

①大学新入生（医学部以外）

学 部	学 性	受 検 対 象 者 数	検 査 項 目								
			胸 部 写 真		尿 検 査 ※				血 圧 測 定		
			受 検 者 数 (%)	要 精 検 者 数 (%)	受 検 者 数 (%)	有 所 見 者 数 (%)			受 検 者 数 (%)	要 観 察 数 (%)	
						蛋 白	糖	潜 血			
人文社会科学部	1	男	129	120 (93.0)		120 (93.0)	4 (3.3)		4 (3.3)	120 (93.0)	6 (5.0)
		女	145	140 (96.6)		140 (96.6)	11 (7.9)		6 (4.3)	140 (96.6)	3 (2.1)
教 育 学 部	1	男	65	64 (98.5)		64 (98.5)	2 (3.1)			64 (98.5)	10 (15.6)
		女	108	108 (100.0)		107 (99.1)	9 (8.4)	1 (0.9)	4 (3.7)	108 (100.0)	1 (0.9)
理 工 学 部	1	男	312	297 (95.2)		297 (95.2)	16 (5.4)		11 (3.7)	297 (95.2)	19 (6.4)
		女	63	60 (95.2)		60 (95.2)	4 (6.7)		3 (5.0)	60 (95.2)	
農学生命科学部	1	男	136	135 (99.3)	1 (0.7)	135 (99.3)	12 (8.9)		1 (0.7)	135 (99.3)	13 (9.6)
		女	85	85 (100.0)		85 (100.0)	4 (4.7)	1 (1.2)	2 (2.4)	85 (100.0)	1 (1.2)
小 計		男	642	616 (96.0)	1 (0.2)	616 (96.0)	34 (5.5)	0 (0.0)	16 (2.6)	616 (96.0)	48 (7.8)
		女	401	393 (98.0)	0 (0.0)	392 (97.8)	28 (7.1)	2 (0.5)	15 (3.8)	393 (98.0)	5 (1.3)
合 計		1,043	1,009 (96.7)	1 (0.1)	1,008 (96.6)	62 (6.2)	2 (0.2)	31 (3.1)	1,009 (96.7)	53 (5.3)	

②医学部

学 部	学 性	受 検 対 象 者 数	検 査 項 目							
			胸 部 写 真		尿 検 査 ※				血 圧 測 定	
			受 検 者 数 (%)	要 精 検 者 数 (%)	受 検 者 数 (%)	有 所 見 者 数 (%)			受 検 者 数 (%)	要 観 察 数 (%)
						蛋 白	糖	潜 血		
医 学 科	1	男	60	59 (98.3)	1 (1.7)	59 (98.3)	1 (1.7)		59 (98.3)	7 (11.9)
		女	55	53 (96.4)		53 (96.4)	2 (3.8)	1 (1.9)	53 (96.4)	
	2	男	87	69 (79.3)		69 (79.3)	1 (1.4)	1 (1.4)	69 (79.3)	5 (7.2)
		女	72	59 (81.9)		59 (81.9)	1 (1.7)	1 (1.7)	59 (81.9)	
	3	男	99	60 (60.6)		60 (60.6)			60 (60.6)	6 (10.0)
		女	53	38 (71.7)		38 (71.7)	2 (5.3)		38 (71.7)	1 (2.6)
	4	男	71	56 (78.9)		56 (78.9)			56 (78.9)	5 (8.9)
		女	42	18 (42.9)		18 (42.9)	1 (5.6)		18 (42.9)	
保 健 学 科	5	男	83	83 (100.0)		83 (100.0)	3 (3.6)		83 (100.0)	9 (10.8)
		女	41	37 (90.2)		37 (90.2)	1 (2.7)		37 (90.2)	
	6	男	76	73 (96.1)		73 (96.1)		1 (1.4)	73 (96.1)	9 (12.3)
		女	42	39 (92.9)		39 (92.9)	2 (5.1)		39 (92.9)	1 (2.6)
	計	男	476	400 (84.0)	1 (0.3)	400 (84.0)	5 (1.3)	2 (0.5)	400 (84.0)	41 (10.3)
		女	305	244 (80.0)	0 (0.0)	244 (80.0)	9 (3.7)	2 (0.8)	244 (80.0)	2 (0.8)
	1	男	66	64 (97.0)	1 (1.6)	64 (97.0)	2 (3.1)		64 (97.0)	6 (9.4)
		女	138	138 (100.0)	1 (0.7)	138 (100.0)	3 (2.2)		138 (100.0)	3 (2.2)
保 健 学 科	2	男	68	66 (97.1)		66 (97.1)	2 (3.0)		66 (97.1)	5 (7.6)
		女	135	132 (97.8)		131 (97.0)	11 (8.4)		132 (97.8)	1 (0.8)
	3	男	65	64 (98.5)		64 (98.5)			64 (98.5)	7 (10.9)
		女	138	134 (97.1)		134 (97.1)	6 (4.5)	1 (0.7)	134 (97.1)	2 (1.5)
	4	男	68	65 (95.6)		65 (95.6)	2 (3.1)		65 (95.6)	3 (4.6)
		女	140	136 (97.1)		136 (97.1)	1 (0.7)	1 (0.7)	136 (97.1)	3 (2.2)
小 計		男	267	259 (97.0)	1 (0.4)	259 (97.0)	6 (2.3)	0 (0.0)	259 (97.0)	21 (8.1)
		女	551	540 (98.0)	1 (0.2)	539 (97.8)	21 (3.9)	2 (0.4)	540 (98.0)	9 (1.7)
小 計		男	743	659 (88.7)	2 (0.3)	659 (88.7)	11 (1.7)	2 (0.3)	659 (88.7)	62 (9.4)
		女	856	784 (91.6)	1 (0.1)	783 (91.5)	30 (3.8)	4 (0.5)	784 (91.6)	11 (1.4)
合 計			1,599	1,443 (90.2)	3 (0.2)	1,442 (90.2)	41 (2.8)	6 (0.4)	1,443 (90.2)	73 (5.1)

※ 一次検診
注) 空欄は該当者なし

③在校生（医学部以外）

学部	学性	受検対象者数	検査項目						
			尿検査※					血圧測定	
			受検者数 (%)	有所見者数 (%)			受検者数 (%)	要観察数 (%)	
				蛋白質	糖	潜血			
人文社会科学部	2	男	137	64 (46.7)	1 (1.6)		2 (3.1)	64 (46.7)	5 (7.8)
		女	134	118 (88.1)	5 (4.2)		4 (3.4)	118 (88.1)	2 (1.7)
	3	男	141	95 (67.4)			5 (5.3)	95 (67.4)	8 (8.4)
		女	129	122 (94.6)	3 (2.5)	1 (0.8)	9 (7.4)	122 (94.6)	2 (1.6)
	4	男	235	137 (58.3)	1 (0.7)	3 (2.2)	7 (5.1)	137 (58.3)	12 (8.8)
		女	178	140 (78.7)	11 (7.9)	1 (0.7)	9 (6.4)	140 (78.7)	4 (2.9)
	計	男	513	296 (57.7)	2 (0.7)	3 (1.0)	14 (4.7)	296 (57.7)	25 (8.4)
		女	441	380 (86.2)	19 (5.0)	2 (0.5)	22 (5.8)	380 (86.2)	8 (2.1)
教育学部	2	男	77	57 (74.0)	1 (1.8)	1 (1.8)	1 (1.8)	57 (74.0)	9 (15.8)
		女	100	95 (95.0)	3 (3.2)	1 (1.1)	8 (8.4)	96 (96.0)	1 (1.0)
	3	男	80	59 (73.8)	1 (1.7)			59 (73.8)	7 (11.9)
		女	94	86 (91.5)	2 (2.3)	1 (1.2)	1 (1.2)	86 (91.5)	1 (1.2)
	4	男	121	80 (66.1)	3 (3.8)	1 (1.3)	3 (3.8)	80 (66.1)	9 (11.3)
		女	151	127 (84.1)	8 (6.3)	1 (0.8)	5 (3.9)	129 (85.4)	3 (2.3)
	計	男	278	196 (70.5)	5 (2.6)	2 (1.0)	4 (2.0)	196 (70.5)	25 (12.8)
		女	345	308 (89.3)	13 (4.2)	3 (1.0)	14 (4.5)	311 (90.1)	5 (1.6)
理工学部	2	男	311	223 (71.7)	6 (2.7)	1 (0.4)	3 (1.3)	223 (71.7)	22 (9.9)
		女	55	43 (78.2)	2 (4.7)		5 (11.6)	43 (78.2)	
	3	男	309	253 (81.9)	3 (1.2)	2 (0.8)	4 (1.6)	253 (81.9)	14 (5.5)
		女	59	53 (89.8)	1 (1.9)		1 (1.9)	53 (89.8)	1 (1.9)
	4	男	280	194 (69.3)	2 (1.0)	1 (0.5)	5 (2.6)	194 (69.3)	25 (12.9)
		女	50	41 (82.0)			3 (7.3)	41 (82.0)	1 (2.4)
	計	男	900	670 (74.4)	11 (1.6)	4 (0.6)	12 (1.8)	670 (74.4)	61 (9.1)
		女	164	137 (83.5)	3 (2.2)	0 (0.0)	9 (6.6)	137 (83.5)	2 (1.5)
農学生命科学部	2	男	130	130 (100.0)	1 (0.8)		3 (2.3)	130 (100.0)	4 (3.1)
		女	89	87 (97.8)	1 (1.1)	1 (1.1)	2 (2.3)	88 (98.9)	1 (1.1)
	3	男	125	68 (54.4)	1 (1.5)		2 (2.9)	68 (54.4)	3 (4.4)
		女	90	73 (81.1)		2 (2.7)	2 (2.7)	74 (82.2)	1 (1.4)
	4	男	132	89 (67.4)	4 (4.5)		5 (5.6)	89 (67.4)	6 (6.7)
		女	81	57 (70.4)			1 (1.8)	58 (71.6)	1 (1.7)
	計	男	387	287 (74.2)	6 (2.1)	0 (0.0)	10 (3.5)	287 (74.2)	13 (4.5)
		女	260	217 (83.5)	1 (0.5)	3 (1.4)	5 (2.3)	220 (84.6)	3 (1.4)
小計	男	2,078	1,449 (69.7)	24 (1.7)	9 (0.6)	40 (2.8)	1,449 (69.7)	124 (8.6)	
	女	1,210	1,042 (86.1)	36 (3.5)	8 (0.8)	50 (4.8)	1,048 (86.6)	18 (1.7)	
合計	計	3,288	2,491 (75.8)	60 (2.4)	17 (0.7)	90 (3.6)	2,497 (75.9)	142 (5.7)	

※ 一次検診

注) 空欄は該当者なし

④大学院（新入生・医学系学生）… 胸部X-P対象者

大 学 院	学 性	受 検 対 象 者 数	検 査 項 目									
			胸 部 写 真		尿 検 査 ※				血 圧 測 定			
			受 検 者 数 (%)	要 精 検 者 数 (%)	受 検 者 数 (%)	有 所 見 者 数 (%)			受 検 者 数 (%)	要 観 察 数 (%)		
						蛋 白	糖	潜 血				
人 文 社 会 科 学 研 究 科	1	男 女	8 14	4 (50.0) 5 (35.7)		5 (62.5) 5 (35.7)			1 (20.0)	5 (62.5) 5 (35.7)	1 (20.0) 1 (20.0)	
教 育 学 研 究 科	1	男 女	14 18	7 (50.0) 13 (72.2)		7 (50.0) 13 (72.2)				7 (50.0) 13 (72.2)	2 (28.6) 1 (7.7)	
		医 学 研 究 科	1	男 女	33 9	1 (3.0) 0 (0.0)		1 (3.0) 0 (0.0)				1 (3.0)
2	男 女			37 21	1 (2.7) 1 (4.8)		1 (2.7) 1 (4.8)			1 (100.0)	1 (2.7) 1 (4.8)	
	3		男 女	47 18	4 (8.5) 0 (0.0)		4 (8.5) 0 (0.0)				4 (8.5)	1 (25.0)
4			男 女	49 30	1 (2.0) 0 (0.0)		1 (2.0) 0 (0.0)				1 (2.0)	1 (100.0)
	計		男 女	166 78	7 (4.2) 1 (1.3)	0 (0.0) 0 (0.0)	7 (4.2) 1 (1.3)	0 (0.0) 0 (0.0)	0 (0.0) 0 (0.0)	0 (0.0) 1 (100.0)	7 (4.2) 1 (1.3)	2 (28.6) 0 (0.0)
保 健 学 研 究 科			1	男 女	32 14	12 (37.5) 2 (14.3)		12 (37.5) 2 (14.3)			1 (8.3)	11 (34.4) 2 (14.3)
	2			男 女	28 24	8 (28.6) 2 (8.3)		8 (28.6) 3 (12.5)		1 (33.3)		8 (28.6) 3 (12.5)
			3 (後期)	男 女	9 12	1 (11.1) 2 (16.7)		1 (11.1) 2 (16.7)				1 (11.1) 2 (16.7)
	計	男 女		69 50	21 (30.4) 6 (12.0)	0 (0.0) 0 (0.0)	21 (30.4) 7 (14.0)	0 (0.0) 0 (0.0)	0 (0.0) 1 (14.3)	1 (4.8) 0 (0.0)	20 (29.0) 7 (14.0)	8 (40.0) 1 (14.3)
		理 工 学 研 究 科	1	男 女	87 15	76 (87.4) 14 (93.3)	3 (3.9)	76 (87.4) 14 (93.3)	1 (1.3)		2 (2.6)	76 (87.4) 14 (93.3)
	農 学 生 命 科 学 研 究 科			1	男 女	29 21	27 (93.1) 20 (95.2)	2 (7.4)	28 (96.6) 20 (95.2)	3 (10.7)		1 (3.6)
地 域 社 会 研 究 科		1	男 女		5 2	1 (20.0) 2 (100.0)		1 (20.0) 2 (100.0)				1 (20.0) 2 (100.0)
	小 計			男 女	378 198	143 (37.8) 61 (30.8)	5 (3.5) 0 (0.0)	145 (38.4) 62 (31.3)	4 (2.8) 1 (1.6)	0 (0.0) 2 (3.2)	4 (2.8) 2 (3.2)	144 (38.1) 62 (31.3)
合 計				576	204 (35.4)	5 (2.5)	207 (35.9)	5 (2.4)	2 (1.0)	6 (2.9)	206 (35.8)	25 (12.1)

※ 一次検診

注) 空欄は該当者なし

大学院（秋季入学生）… 胸部X-P対象者

大 学 院	学 性	受 検 対 象 者 数	検 査 項 目								
			胸 部 写 真		尿 検 査 ※			血 圧 測 定			
			受 検 者 数 (%)	要 精 検 者 数 (%)	受 検 者 数 (%)	有 所 見 者 数 (%)			受 検 者 数 (%)	要 観 察 数 (%)	
						蛋 白	糖	潜 血			
人文社会科学 研 究 科	1	男 女	3 1	2 (66.7) 0 (0.0)		2 (66.7) 0 (0.0)			2 (66.7) 0 (0.0)		
医 学 研 究 科	1	男 女	4 1	0 (0.0) 1 (100.0)		0 (0.0) 1 (100.0)			0 (0.0) 1 (100.0)		
理工学研究科	1	男 女	6 3	4 (66.7) 2 (66.7)		4 (66.7) 2 (66.7)			4 (66.7) 2 (66.7)		
農 学 生 命 科 学 研 究 科	1	男 女	1 2	1 (100.0) 2 (100.0)		1 (100.0) 2 (100.0)			1 (100.0) 2 (100.0)		
小 計		男	14	7 (50.0)	0 (0.0)	7 (50.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	7 (50.0)	0 (0.0)
		女	7	5 (71.4)	0 (0.0)	5 (71.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	5 (71.4)	0 (0.0)
合 計			21	12 (57.1)	0 (0.0)	12 (57.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	12 (57.1)	0 (0.0)

※ 一次検診

注) 空欄は該当者なし

⑤大学院（在校生・医学系以外）

大 学 院	学 性	受 検 対 象 者 数	検 査 項 目							
			尿 検 査 ※				血 圧 測 定			
			受 検 者 数 (%)	有 所 見 者 数 (%)			受 検 者 数 (%)	要 観 察 数 (%)		
	蛋 白	糖		潜 血						
人文社会科学 研 究 科	2	男 女	7 19	1 (14.3) 8 (42.1)				1 (14.3) 8 (42.1)		
教育学研究科	2	男 女	19 34	8 (42.1) 10 (29.4)			1 (10.0)	8 (42.1) 10 (29.4)		
理工学研究科	2	男 女	98 18	84 (85.7) 12 (66.7)	3 (3.6)	1 (1.2)		84 (85.7) 12 (66.7)	9 (10.7)	
		3 (後期)	男 女	7 2	2 (28.6) 0 (0.0)			1 (50.0)	2 (28.6) 0 (0.0)	1 (50.0)
	計		男 女	105 20	86 (81.9) 12 (60.0)	3 (3.5) 0 (0.0)	1 (1.2) 0 (0.0)	1 (1.2) 0 (0.0)	86 (81.9) 12 (60.0)	10 (11.6) 0 (0.0)
		農 学 生 命 科 学 研 究 科	2	男 女	36 20	31 (86.1) 16 (80.0)	1 (3.2)	1 (3.2)	2 (6.5) 1 (6.3)	31 (86.1) 16 (80.0)
	地域社会研究科			2	男 女	4 5	0 (0.0) 0 (0.0)			
3		男 女	20 5		1 (5.0) 0 (0.0)				1 (5.0) 0 (0.0)	
		計	男 女	24 10	1 (4.2) 0 (0.0)	0 (0.0) 0 (0.0)	0 (0.0) 0 (0.0)	0 (0.0) 0 (0.0)	1 (4.2) 0 (0.0)	0 (0.0) 0 (0.0)
小 計				男 女	191 103	127 (66.5) 46 (44.7)	4 (3.1) 0 (0.0)	2 (1.6) 0 (0.0)	3 (2.4) 2 (4.3)	127 (66.5) 46 (44.7)
	合 計			294	173 (58.8)	4 (2.3)	2 (1.2)	5 (2.9)	173 (58.8)	16 (9.2)

※ 一次検診

注) 空欄は該当者なし

(2) 各科健康診断結果

大 学（入学年次）

学 部	性 別	受 検 対 象 者 数	受 検 者 数 (%)	内 科				眼 科				耳 鼻 咽 喉 科								皮 膚 科									
				貧	甲	心	不	そ	斜	結	霰	麦	そ	慢	慢	鼻	鼻	慢	扁	耳	そ	ア	慢	蕁	尋	尋	毛	母	そ
				血	腺	雑	整	の		膜	粒	粒	の	性	性	中	ア	性	桃		の	ト	性	麻	常	常	孔		の
				腫	腫	音	脈	他	視	炎	腫	腫	他	炎	炎	症	彎	隔	扁	肥	大	垢	他	炎	疹	疹	瘡	贅	癬
人 文 社 会 科 学 部	男 女	129 145	121 (93.8) 140 (96.6)	4				1	1					4	4	10		4		2	3		1	1					
						2			4							4		2		7	3		6						
教 育 学 部	男 女	65 108	64 (98.5) 108 (100.0)											2		3		2	2	1				1					
				1				1					2	2		2	2	4	3	3									
医 学 部	男 女	125 191	123 (98.4) 191 (100.0)			1							1	1		1		1	1	6	1	1	13	3	1		2		
				3	3	2							3				2		3				8	2					
理 工 学 部	男 女	312 63	297 (95.2) 60 (95.2)			3			5	5			3		5		4		7	1	6	6		2					
										1				1								1							
農 学 生 命 科 学 部	男 女	136 85	135 (99.3) 85 (100.0)	1					1					1						10			2	2					
				2												1			2				1						
小 計	男	767	740 (96.5)	5	0	4	0	1	7	5	0	0	3	1	13	4	18	0	2	14	25	10	1	18	7	1	0	2	
	女	592	584 (98.6)	5	4	4	0	0	5	1	0	0	0	0	6	0	7	0	4	6	15	6	1	14	3	0	0	0	
合 計		1,359	1,324 (97.4)	10	4	8	0	1	12	6	0	0	3	1	19	4	25	0	6	20	2	40	16	2	32	10	1	0	2

注) 空欄は該当者なし

(3) 心電図検査受検率及び結果

① 新入生 大学

学 部	性 別	受検対 象者数	受 検 者 数 (%)	要 精 査 (%)	要 観 察 (%)	医療 継 続 (%)
人文社会 科 学 部	男	129	101 (78.3)	4 (4.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	女	145	139 (95.9)	3 (2.2)	0 (0.0)	1 (0.7)
教育学部	男	65	56 (86.2)	2 (3.6)	0 (0.0)	0 (0.0)
	女	108	106 (98.1)	1 (0.9)	0 (0.0)	0 (0.0)
医 学 部	男	59	56 (94.9)	3 (5.4)	0 (0.0)	0 (0.0)
	女	53	51 (96.2)	1 (2.0)	1 (2.0)	0 (0.0)
医 学 科	男	66	63 (95.5)	3 (4.8)	1 (1.6)	0 (0.0)
	女	138	138 (100.0)	3 (2.2)	1 (0.7)	0 (0.0)
保健学科	男	312	284 (91.0)	12 (4.2)	1 (0.4)	3 (1.1)
	女	63	61 (96.8)	1 (1.6)	0 (0.0)	0 (0.0)
理工学部	男	136	108 (79.4)	1 (0.9)	1 (0.9)	1 (0.9)
	女	85	79 (92.9)	0 (0.0)	1 (1.3)	0 (0.0)
農学生命 科 学 部	男	767	668 (87.1)	25 (3.7)	3 (0.4)	4 (0.6)
	女	592	574 (97.0)	9 (1.6)	3 (0.5)	1 (0.2)
小 計						
合 計		1,359	1,242 (91.4)	34 (2.7)	6 (0.5)	5 (0.4)

所見内訳（のべ人数）

所 見	男	女
W P W 症 候 群	1	
Ⅱ 度 房 室 ブ ロ ッ ク	2	2
I 度 房 室 ブ ロ ッ ク	3	2
Q T 延 長	1	
心 室 肥 大	1	
V1－2；Q S 型		3
V1－2；S T 上 昇	1	
R 波 増 高 不 良		1
徐 脈（接合部調律）		1
洞 性 徐 脈	4	2
心 室 期 外 収 縮	2	
上 室 期 外 収 縮	1	
ペ ー ス メ ー カ 移 動	1	
軸 偏 位	5	1
心 室 内 伝 導 遅 延	4	
完 全 右 脚 ブ ロ ッ ク		1
不 完 全 右 脚 ブ ロ ッ ク	4	
合 計	30	13

② 編入学生

学 部	性 別	受検対 象者数	受 検 者 数 (%)	要 精 査 (%)	要 観 察 (%)	医療 継 続 (%)
医学部医学科 (2年次編入)	男	15	15 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	女	5	5 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
医学部保健学科 (3年次編入)	男	3	3 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	女	1	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
理工学部 (3年次編入)	男	5	5 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	女	0				
農学生命科学部 (3年次編入)	男	2	1 (50.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	女	2	1 (50.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
小 計	男	25	24 (96.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	女	8	7 (87.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
合 計		33	31 (93.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)

(4) 学生特別定期健康診断（対象学生は病院実習とR I 実験室に立ち入る学生）

① 対象学生・学部及び検査項目・実施時期・回数

対 象 学 部 ・ 学 年			検 査 項 目	実施時期・回数	
医 学 部	医 学 科	2 年	末梢血・問診票	4 月	1 回
		4 年（全員）	AST・ALT, HBs抗原・抗体, HCV抗体, 末梢血	12月	1 回
	保健学科	全専攻 3 年次編入学生	AST・ALT, HBs抗原・抗体, HCV抗体	4 月	1 回
		看護学 2 年	AST・ALT, HBs抗原・抗体, HCV抗体	4 月	1 回
		検査技術科学 3 年	AST・ALT, HBs抗原・抗体, HCV抗体	4 月	1 回
		放射線技術科学 2 年	末梢血・問診票	10月	1 回
		〃 3 年	AST・ALT, HBs抗原・抗体, HCV抗体	4 月	1 回
		〃 3 年	末梢血・問診票	4・10月	2 回
		〃 4 年	末梢血・問診票	4・10月	2 回
		理学療法学・作業療法学 2 年	AST・ALT, HBs抗原・抗体, HCV抗体	10月	1 回
医 学 部	RI取扱および放射線実習に関わる学部学生, 院生		末梢血・問診票	5・11月 2 回	
理 工 学 部					
農 学 生 命 科 学 部					
北日本新エネルギー研究所					

② 学生特別定期健康診断受検率及び結果

病院実習

医学部 医学科

学 科	学 年	性 別	受 検 対 象 者 数	受 検 者 数 (%)	肝 機 能						末 梢 血							
					A S T		A L T		HBs 抗原	HBs 抗体	HCV 抗体	白 血 球 数 (/ μ l)			血 色 素 量 (g / dl)			
					38	39	44	45	陽性	陽性	陽性	4000	4000 ∩ 10000	10000	女		男	
					U/L 以下	U/L 以上	U/L 以下	U/L 以上	者数	者数	者数	未満	未満	以上	10未満	10以上	11未満	11以上
医学科	4	男女	71 42	69 (97.2) 42(100.0)	66 42	3	63 42	6		58 40		4 5	65 36	1		42	1	68
合 計			113	111 (98.2)	108	3	105	6	0	98	0	9	101	1	0	42	1	68

医学部 保健学科

専 攻	学 年	性 別	受 検 対 象 者 数	受 検 者 数 (%)	肝 機 能						
					A S T		A L T		HBs 抗原	HBs 抗体	HCV 抗体
					38 U/L 以下	39 U/L 以上	44 U/L 以下	45 U/L 以上	陽性 者数	陽性 者数	陽性 者数
看護学	2	男女	9 71	9 (100. 0) 71 (100. 0)	9 71		9 71			8 69	
放射線 技術学	3	男女	21 14	21 (100. 0) 14 (100. 0)	21 14		20 14	1		13 9	
検 査 技術学	4	男女	13 27	13 (100. 0) 27 (100. 0)	13 27		13 27			7 18	
	4 (編入生)	男女	2 2	2 (100. 0) 2 (100. 0)	2 2		1 2	1		2	
理 学 療法学	2	男女	12 9	12 (100. 0) 9 (100. 0)	12 9		11 9	1		8 6	
作 業 療法学	2	男女	10 11	10 (100. 0) 11 (100. 0)	10 11		10 11			6 4	
小 計			67 134	67 (100. 0) 134 (100. 0)	67 134	0 0	64 134	3 0	0 0	44 106	0 0
合 計			201	201 (100. 0)	201	0	198	3	0	150	0

大学 R I 実験室立入実習室 末梢血・自覚症状および皮膚科（問診票）の検査

学 部 学 科 等		性 別	第 1 回 目										
			受 検 対 象 者 数	末 梢 血								自覚症状他 (問診票)	
				受 検 者 数 (%)	白血球数(10 ³ /μℓ)			血色素量(g/dℓ)				受 検 者 数 (%)	
					4.00 未満	4.00 ～ 10.00 未満	10.00 以上	女		男			
医 学 部	医 学 科 2 年	男 女	67 65	67 (100.0) 65 (100.0)	1 5	65 59	1 1			65		67	67 (100.0) 65 (100.0)
	保健学科放射線 技術学科 3 年	男 女	21 14	21 (100.0) 14 (100.0)	1 2	20 12				14		21	21 (100.0) 14 (100.0)
	保健学科放射線 技術学科 4 年	男 女	25 15	25 (100.0) 15 (100.0)		25 12				15		25	25 (100.0) 15 (100.0)
	大 学 院	男 女	1 0	1 (100.0) 0 (0.0)		1						1	1 (100.0) 0 (0.0)
	保健学研究科	学生及び大学院	男 女	5 0	5 (100.0) 0 (0.0)	1	4					5	5 (100.0) 0 (0.0)
理 工 学 部	学生及び大学院	男 女	28 9	19 (67.9) 8 (88.9)		18 8	1			8		19	19 (67.9) 8 (88.9)
農 学 生 命 科 学 部	学生及び大学院	男 女	14 2	12 (85.7) 2 (100.0)		12 2				2		12	12 (85.7) 2 (100.0)
小 計		男 女	161 105	150 (93.2) 104 (99.0)	3 8	145 93	2 3	0 0	0 104	0 0	150 0	150 (93.2) 104 (99.0)	
合 計			266	254 (95.5)	11	238	5	0	104	0	150	254 (95.5)	

学 部 学 科 等		性 別	第 2 回 目										
			受 検 対 象 者 数	末 梢 血								自覚症状他 (問診票)	
				受 検 者 数 (%)	白血球数(10 ³ /μℓ)			血色素量(g/dℓ)				受 検 者 数 (%)	
					4.00 未満	4.00 ～ 10.00 未満	10.00 以上	女		男			
								10 未満	10 以上	11 未満	11 以上		
医 学 部	保健学科放射線 技 術 学 科 2 年	男 女	25 14	25 (100.0) 14 (100.0)		25 14				14		25 14	25 (100.0) 14 (100.0)
	保健学科放射線 技 術 学 科 3 年	男 女	21 14	21 (100.0) 14 (100.0)		21 13				14		21 14	21 (100.0) 14 (100.0)
	保健学科放射線 技 術 学 科 4 年	男 女	25 15	25 (100.0) 15 (100.0)		24 13	1 1			15		25 15	25 (100.0) 15 (100.0)
	大 学 院	男 女	1 0	1 (100.0) 0 (0.0)		1						1	1 (100.0) 0 (0.0)
保健学研究科	学生及び大学院	男 女	4 0	3 (75.0) 0 (0.0)	1	2						3	3 (75.0) 0 (0.0)
理 工 学 部	学生及び大学院	男 女	23 8	22 (95.7) 8 (100.0)	1	19 8	2			8		22	22 (95.7) 8 (100.0)
農 学 生 命 科 学 部	学生及び大学院	男 女	12 1	6 (50.0) 1 (100.0)		6 1				1		6	6 (50.0) 1 (100.0)
小 計		男 女	111 52	103 (92.8) 52 (100.0)	2 1	98 49	3 2	0 0	0 52	0 0	103 0	103 (92.8) 52 (100.0)	
合 計			163	155 (95.1)	3	147	5	0	52	0	103	155 (95.1)	

4. 職員の健康診断

(1) 定期健康診断受検率及び結果

部局名		事務局等		人文社会科学部		教育学部		医学研究科		保健学研究科		附属病院		理工学研究科		農学生命科学部		小 計		合 計
性 別		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
受検対象者		178	154	61	23	129	97	178	145	75	55	354	838	112	20	95	30	1,182	1,362	2,544
受検者総数(%)		176(98.9)	153(99.4)	55(90.2)	20(87.0)	120(93.0)	94(96.9)	178(100.0)	145(100.0)	75(100.0)	55(100.0)	354(100.0)	838(100.0)	104(92.9)	19(95.0)	90(94.7)	30(100.0)	1,152(97.5)	1,354(99.4)	2,506(98.5)
内 健 診 証 明 書 提 出 者 数	人間ドック・雇入時健診・	18	12	7	3	11	18	15	10	6	6	20	13	18	1	9	4	104	67	171
	健康診断書提出者数																			
受検者(上記以外)		158	141	48	17	109	76	163	135	69	49	334	825	86	18	81	26	1048	1,287	2,335
未 検 者		2(1.1)	1(0.6)	6(9.8)	3(13.0)	9(7.0)	3(3.1)	0	0	0	0	0	0	8(7.1)	1(5.0)	5(5.3)	0	30(2.5)	8(0.6)	38(1.5)
保健管理センターでの受検者 (外注・人間ドック・雇入時健診 ・健診証明書提出者以外)		147	133	48	17	81	40	163	132	68	48	334	824	86	18	64	17	991	1,229	2,220
検 査 項 目	低 体 重(%)	5(3.4)	22(16.5)	1(2.1)	4(23.5)	4(4.9)	7(17.5)	4(2.5)	13(9.8)		3(6.3)	10(3.0)	88(10.7)	1(1.2)	1(5.6)	1(1.6)	1(5.9)	26(2.6)	139(11.3)	165(7.4)
	普通体重(%)	84(57.1)	84(63.2)	34(70.8)	11(64.7)	42(51.9)	26(65.0)	106(65.0)	88(66.7)	40(58.8)	34(70.8)	202(60.5)	572(69.4)	52(60.5)	13(72.2)	38(59.4)	12(70.6)	598(60.3)	840(68.3)	1,438(64.8)
	肥満1度(%)	44(29.9)	22(16.5)	12(25.0)	2(11.8)	31(38.3)	4(10.0)	39(23.9)	23(17.4)	25(36.8)	7(14.6)	89(26.6)	105(12.7)	29(33.7)	2(11.1)	17(26.6)	2(11.8)	286(28.9)	167(13.6)	453(19.1)
	肥満2度(%)	11(7.5)	4(3.0)	1(2.1)		3(3.7)	2(5.0)	10(6.1)	5(3.8)	2(2.9)	2(4.2)	26(7.8)	34(4.1)	2(2.3)	2(11.1)	5(7.8)	1(5.9)	60(6.1)	50(4.1)	110(5.0)
	肥満3度(%)	2(1.4)				1(1.2)		4(2.5)	1(0.8)	1(1.5)	1(2.1)	6(1.8)	4(0.5)	2(2.3)		3(4.7)		19(1.9)	6(0.5)	25(1.1)
肥満4度(%)		1(0.7)										1(0.3)	2(0.2)					2(0.2)	4(0.2)	
	判定なし(妊娠中)		1(0.8)				1(2.5)		2(1.5)		1(2.1)	19(2.3)				1(5.9)		25(2.0)	25(1.1)	
胸部写真		1(0.7)	1(0.8)					1(0.6)				4(1.2)	7(0.8)					6(0.6)	8(0.7)	14(0.6)
お よ び	要精検者数(%)	4(2.7)	2(1.5)	2(4.2)		1(1.2)		3(1.8)	1(0.8)	1(1.5)		6(1.8)	12(1.5)	2(2.3)	2(11.1)	1(1.6)		20(2.0)	17(1.4)	37(1.7)
	要精検者数	4(2.7)	3(2.3)		1(5.9)	2(2.5)		7(4.3)	6(4.5)	3(4.4)	3(6.3)	12(3.6)	13(1.6)	3(3.5)	1(5.6)	2(3.1)		33(3.3)	27(2.2)	60(2.7)
	要精検者数	4(2.7)	6(4.5)	1(2.1)	1(5.9)	3(3.7)		4(2.5)	10(7.6)	2(2.9)	2(4.2)	5(1.5)	28(3.4)	2(2.3)	3(16.7)	2(3.1)	1(5.9)	23(2.3)	51(4.1)	74(3.3)
結 果	高血圧者数(%)	63(42.9)	22(16.5)	28(58.3)	4(23.5)	40(49.4)	11(27.5)	65(39.9)	23(17.4)	33(48.5)	14(29.2)	85(25.4)	92(11.2)	30(34.9)	6(33.3)	38(59.4)	4(23.5)	382(38.5)	176(14.3)	558(25.1)
	要精検者数(%)	8(5.4)	2(1.5)	5(10.4)		3(3.7)	1(2.5)	6(3.7)	3(2.3)	3(4.4)	2(4.2)	7(2.1)	3(0.4)	2(2.3)	1(5.6)	5(7.8)		39(3.9)	12(1.0)	51(2.3)
果	要指導者数(%)	60(40.8)	44(33.1)	16(33.3)	4(23.5)	29(35.8)	9(22.5)	36(22.1)	36(27.3)	20(29.4)	17(35.4)	64(19.2)	204(24.8)	23(26.7)	5(27.8)	15(23.4)	6(35.3)	263(26.5)	325(26.4)	588(26.5)
	要指導者数																			
聴力測定		15(10.2)	3(2.3)	5(10.4)		9(11.1)	2(5.0)	3(1.8)	4(3.0)	4(5.9)	2(4.2)	8(2.4)	26(3.2)		1(5.6)	2(3.1)		46(4.6)	38(3.1)	84(3.8)

注) 空欄は該当者なし

(2) 生活習慣病健診

心電図検査

(35歳と40歳以上)

所見内訳 (のべ人数)

部 局 名	性別	受検対象者数	受 検 者 数 (%)	有所見者 数 (%)	所 見	男	女
事 務 局	男	125	98 (78.4)	15 (15.3)	心 筋 障 害	29	29
	女	102	83 (81.4)	12 (14.5)	心 室 肥 大	1	
人文社会科学部	男	54	42 (77.8)	6 (14.3)	心 房 細 動	3	
	女	17	12 (70.6)	1 (8.3)	W P W 症 候 群	2	
教 育 学 部	男	102	63 (61.8)	13 (20.6)	Q T 延 長	1	
	女	77	29 (37.7)	3 (10.3)	心 室 期 外 収 縮	14	8
医 学 研 究 科	男	144	124 (86.1)	32 (25.8)	上 室 期 外 収 縮	5	12
	女	100	89 (89.0)	12 (13.5)	左 脚 ブ ロ ッ ク	1	1
保 健 学 研 究 科	男	51	44 (86.3)	3 (6.8)	完 全 右 脚 ブ ロ ッ ク	16	5
	女	35	31 (88.6)	3 (9.7)	不 完 全 右 脚 ブ ロ ッ ク	5	
医学部附属病院	男	151	135 (89.4)	19 (14.1)	心 室 内 伝 導 異 常	4	
	女	381	367 (96.3)	32 (8.7)	I 度 房 室 ブ ロ ッ ク	16	2
理工学研究科	男	98	79 (80.6)	11 (13.9)	P 波 の 異 常	2	
	女	14	13 (92.9)	1 (7.7)	洞 性 徐 脈	5	4
農学生命科学部	男	80	53 (66.3)	8 (15.1)	洞 性 頻 脈	2	
	女	19	8 (42.1)	1 (12.5)	Q R S 軸 の 異 常	10	4
小 計	男	805	638 (79.3)	107 (16.8)			
	女	745	632 (84.8)	65 (10.3)			
合 計		1,550	1,270 (81.9)	172 (13.5)	合 計	116	65
			1,436 (92.6)	人間ドック、外注、雇入時等含む			

注) 空欄は該当者なし

職員 肝機能・血中脂質・血糖・貧血検査 (35歳，40歳以上)

部 局 名		性 別	受 検 対 象 者 数	受 検 者 数 (%)	肝 機 能 判 定				血 中 脂 質 判 定								糖 代 謝 判 定				貧 血 判 定				腎 機 能 判 定			
					AST, ALT, γ-GTP				TG, HDL-C, LDL-C								BS				RBC, Hb				e-GFR			
					※※ A	C	D	E	A	B	C	D	E	A	C	D	E	A	C	D	E	A	C	D	E	A	C	D
事 務 局 ※	男	125	98 (78.4)	58	27	10	3	79	7	6	3	3	76	12	2	8	82	15	0	1	86	9	0	3				
	女	102	83 (81.4)	58	24	1	0	64	15	2	2	0	74	3	2	4	67	8	8	0	77	6	0	0				
人 文 社 会 学 科	男	54	42 (77.8)	32	6	4	0	35	3	3	1	0	39	1	0	2	38	3	1	0	36	6	0	0				
	女	17	12 (70.6)	8	4	0	0	9	3	0	0	0	12	0	0	0	9	3	0	0	12	0	0	0				
教 育 学 部	男	102	63 (61.8)	47	13	3	0	55	0	6	1	1	55	4	1	3	55	8	0	0	51	11	1	0				
	女	77	29 (37.7)	17	12	0	0	22	5	0	0	2	29	0	0	0	23	6	0	0	28	1	0	0				
医 学 研 究 科	男	144	124 (86.1)	85	26	11	2	99	5	6	10	4	103	12	1	8	114	10	0	0	106	15	0	3				
	女	100	88 (88.0)	60	27	0	1	69	8	6	5	0	86	1	0	1	73	12	3	0	81	6	1	0				
保 健 学 研 究 科	男	51	44 (86.3)	26	9	9	0	40	0	3	1	0	35	5	1	3	28	15	1	0	40	4	0	0				
	女	35	30 (85.7)	17	10	2	1	20	3	2	1	4	26	3	1	0	24	3	3	0	25	4	0	1				
附 属 病 院	男	151	135 (89.4)	73	41	19	2	102	12	13	5	3	113	17	2	3	123	11	1	0	124	11	0	0				
	女	381	367 (96.3)	269	78	19	1	280	43	20	12	12	338	20	1	8	292	46	27	2	355	10	2	0				
理 工 学 部	男	98	79 (80.6)	54	19	5	1	63	4	8	4	0	70	5	0	4	68	10	1	0	75	4	0	0				
	女	14	13 (92.9)	11	2	0	0	10	2	0	0	1	11	0	1	1	9	0	2	2	13	0	0	0				
農 学 生 命 学 科	男	80	53 (66.3)	37	10	4	2	45	2	2	4	0	42	9	0	2	42	10	1	0	49	3	1	0				
	女	19	8 (42.1)	7	0	1	0	5	3	0	0	0	7	0	1	0	6	1	1	0	7	1	0	0				
小 計	男	805	638 (79.3)	412	151	65	10	518	33	47	29	11	533	65	7	33	550	82	5	1	567	63	2	6				
	女	745	630 (84.6)	447	157	23	3	479	82	30	20	19	583	27	6	14	503	79	44	4	598	28	3	1				
合 計			1,268 (81.8)	859	308	88	13	997	115	77	49	30	1,116	92	13	47	1,053	161	49	5	1,165	91	5	7				
		1,550	1,491 (96.2)	外注, 人間ドック, 雇入時等含む																								

※：学内共同教育研究施設等を含む

※※：A；正常，B；要指導，C；要再検，D；要精査，E；治療中

特定健診

(40歳以上75歳未満)

部 局 名	性別	受検対象者数	受検者数 (%)	腹 囲 (%) 男性:85cm以上 女性:90cm以上	特定保健指導		
					積 極 的 支 援 レベルの対象者	動 機 付 け 支 援 レベルの対象者	情 報 提 供 レベルの対象者
事 務 局	男	120	118 (98.3)	65 (55.1)	53	9	56
	女	94	92 (97.9)	14 (15.2)	7	11	74
人文社会科学部	男	51	43 (84.3)	18 (41.9)	13	5	25
	女	17	14 (82.4)	0 (0.0)	0	1	13
教 育 学 部	男	98	90 (91.8)	42 (46.7)	25	14	51
	女	75	73 (97.3)	10 (13.7)	6	7	60
医 学 研 究 科	男	140	135 (96.4)	58 (43.0)	38	17	80
	女	87	83 (95.4)	12 (14.5)	7	11	65
保 健 学 研 究 科	男	50	49 (98.0)	24 (49.0)	21	4	24
	女	35	35 (100.0)	10 (28.6)	8	1	26
医学部附属病院	男	136	130 (95.6)	75 (57.7)	55	14	61
	女	361	356 (98.6)	52 (14.6)	39	30	287
理 工 学 研 究 科	男	97	89 (91.8)	46 (51.7)	24	18	47
	女	14	14 (100.0)	2 (14.3)	2	0	12
農学生命科学部	男	78	67 (85.9)	32 (47.8)	23	7	37
	女	19	17 (89.5)	0 (0.0)	0	1	16
小 計	男	770	721 (93.6)	360 (49.9)	252	88	381
	女	702	684 (97.4)	100 (14.6)	69	62	553
合 計		1,472	1,405 (95.4)	460 (32.7)	321	150	934

【血糖に関する項目】

空腹時血糖100mg/dl以上またはHbA1cが5.6%（NGSP値）以上または薬物治療中

【脂質に関する項目】

中性脂肪150mg/dl以上またはHDLコレステロール40mg/dl未満または薬物治療中

【血圧に関する項目】

収縮期血圧130mmHg以上または拡張期血圧85mmHg以上または薬物治療中

胃検診（胃がんリスク検診）

（40歳以上）

A B C分類

部 局 名	性別	受検対象者数	受検者数	(%)	有所見者数	(%)	A	B	C	D	その他
事 務 局	男	120	7	(5.8)	2	(28.6)	5	1			1
	女	94	5	(5.3)	1	(20.0)	4	1			
人文社会科学部	男	51	2	(3.9)	1	(50.0)	1				1
	女	17	0	(0.0)							
教 育 学 部	男	98	10	(10.2)	3	(30.0)	7	1			2
	女	75	3	(4.0)	1	(33.3)	2				1
医 学 研 究 科	男	140	7	(5.0)	2	(28.6)	5			1	1
	女	87	9	(10.3)	2	(22.2)	7	1	1		
保健学研究科	男	50	2	(4.0)	0	(0.0)	2				
	女	35	0	(0.0)							
医学部附属病院	男	136	10	(7.4)	2	(20.0)	8	1			1
	女	361	31	(8.6)	8	(25.8)	23	5			3
理工学研究科	男	97	2	(2.1)	1	(50.0)	1				1
	女	14	0	(0.0)							
農学生命科学部	男	78	3	(3.8)	0	(0.0)	3				
	女	19	0	(0.0)							
小 計	男	770	43	(5.6)	11	(25.6)	32	3	0	1	7
	女	702	48	(6.8)	12	(25.0)	36	7	1	0	4
合 計		1,472	91	(6.2)	23	(25.3)	68	10	1	1	11

※受検者は40歳以上で胃がんリスク検診をうけたことのない希望者

便潜血（便中Hb）検査

(40歳以上)

部 局 名	性別	受検対象者数	受 検 者 数	(%)	陽 性 者 数	(%)
事 務 局	男女	120 94	33 12	(27.5) (12.8)	1 0	(3.0) (0.0)
人 文 社 会 科 学 部	男女	51 17	6 2	(11.8) (11.8)	0 0	(0.0) (0.0)
教 育 学 部	男女	98 75	24 11	(24.5) (14.7)	1 1	(4.2) (9.1)
医 学 研 究 科	男女	140 87	44 23	(31.4) (26.4)	1 0	(2.3) (0.0)
保 健 学 研 究 科	男女	50 35	11 11	(22.0) (31.4)	0 0	(0.0) (0.0)
医 学 部 附 属 病 院	男女	136 361	17 50	(12.5) (13.9)	1 1	(5.9) (2.0)
理 工 学 研 究 科	男女	97 14	25 1	(25.8) (7.1)	1 0	(4.0) (0.0)
農 学 生 命 科 学 部	男女	78 19	13 1	(16.7) (5.3)	1 0	(7.7) (0.0)
小 計	男女	770 702	173 111	(22.5) (15.8)	6 2	(3.5) (1.8)
合 計		1,472	284	(19.3)	8	(2.8)

肺がん検診

(40歳以上)

部 局 名	性別	対象者数	問 診 票 提出者数 (%)	喀痰検診 対象者数 (%)
事 務 局	男	120	119 (99.2)	16 (13.4)
	女	94	85 (90.4)	
人 文 社 会 科 学 部	男	51	37 (72.5)	2 (5.4)
	女	17	12 (70.6)	1 (8.3)
教 育 学 部	男	98	98 (100.0)	9 (9.2)
	女	75	71 (94.7)	
医 学 研 究 科	男	140	139 (99.3)	6 (4.3)
	女	87	81 (93.1)	
保 健 学 研 究 科	男	50	42 (84.0)	5 (11.9)
	女	35	26 (74.3)	1 (3.8)
医 学 部 附 属 病 院	男	136	133 (97.8)	6 (4.5)
	女	361	352 (97.5)	2 (0.6)
理 工 学 研 究 科	男	97	92 (94.8)	7 (7.6)
	女	14	14 (100.0)	
農 学 生 命 科 学 部	男	78	77 (98.7)	7 (9.1)
	女	19	14 (73.7)	
小 計	男	770	737 (95.7)	58 (7.9)
	女	702	655 (93.3)	4 (0.6)
合 計		1,472	1,392 (94.6)	62 (4.5)

子宮頸癌・卵巣癌検診受検状況

(全女子職員)

子宮頸部細胞診

部 局 名	受 検 対 象 者 数	受 検 者 数 (%)
事 務 局	154	11 (7.1)
人 文 社 会 科 学 部	23	0 (0.0)
教 育 学 部	97	11 (11.3)
医 学 研 究 科	145	12 (8.3)
保 健 学 研 究 科	55	2 (3.6)
医 学 部 附 属 病 院	838	7 (0.8)
理 工 学 研 究 科	20	1 (5.0)
農 学 生 命 科 学 部	30	0 (0.0)
合 計	1,362	44 (3.2)

ベセスダ分類

異常なし	41
要精査	3

卵巣癌検診

異常なし	42
経過観察	1
要精査	1

(3) 特別定期健康診断受検率及び結果

① 特定業務従事者(深夜業務従事者, 病原体・ホルムアルデヒド・エチレンオキシドを扱う業務従事者)

春 期

受検対象者	受検者数(%)	血圧測定		尿検査			視力測定		聴力測定
		受検者数	要観察数(%)	受検者数	有所見者数		受検者数	要指導 (%)	日常生活や 就労に支障 なし
					糖(%)	蛋白(%)			
522	522 (100.0)	522	52 (10.0)	521	10(1.9)	16(3.1)	522	117(22.4)	522

② VDT作業従事者

受検対象者	受検者数 (問診票)	(%)	作業区分人数		(%)	視力測定 該当者数	視力測定 受検者数	(%)	結 果 指導あり
2,460	2,445	(99.4)	A	77	(3.1)	77	20	(26.0)	10
			B	1,631	(66.7)	24	12	(50.0)	5
			C	737	(30.1)	—	—	—	—
合 計			2,445		(100.0)	101	32	(31.7)	15

③ 特殊健康診断結果

春 期

		電離放射線	鉛	有機リン剤	有機溶剤	特 化 物
文京町地区	対 象 者 数	22	3	3	61	43
	受 検 者 数	22	3	3	61	43
本 町 地 区	対 象 者 数	518	1	0	102	57
	受 検 者 数	518	1	0	102	57
金 木 農 場	対 象 者 数	0	0	7	5	0
	受 検 者 数	0	0	7	5	0
藤 崎 農 場	対 象 者 数	0	0	9	5	0
	受 検 者 数	0	0	9	5	0
地 域 戦 略 研 究 所	対 象 者 数	2	1	0	1	2
	受 検 者 数	2	1	0	1	2
合 計	対 象 者 数	542	5	19	174	102
	受 検 者 数	542	5	19	174	102

秋 期

		電離放射線	鉛	有機リン剤	有機溶剤	特 化 物
文京町地区	対 象 者 数	24	2	5	57	39
	受 検 者 数	24	2	5	57	39
本 町 地 区	対 象 者 数	503	2	0	99	62
	受 検 者 数	503	2	0	99	62
金 木 農 場	対 象 者 数	0	0	7	5	0
	受 検 者 数	0	0	7	5	0
藤 崎 農 場	対 象 者 数	0	0	9	5	0
	受 検 者 数	0	0	9	5	0
地 域 戦 略 研 究 所	対 象 者 数	1	1	0	1	1
	受 検 者 数	1	1	0	1	1
合 計	対 象 者 数	528	5	21	167	102
	受 検 者 数	528	5	21	167	102

(4) ストレスチェック結果

部 局 名	対象職員	受検者	高ストレス者	高ストレス者率	産業医との面接実施			産業医との 面接実施率
						面接指導	健康相談	
文京町地区	900	795	80	10.1 %	15	12	3	18.8 %
本 町 地 区	1,669	1,422	171	12.0 %	12	10	2	7.0 %
合 計	2,569	2,217	251	11.3 %	27	22	5	10.8 %

5. 教育学部附属学校定期健康診断受検状況

尿検査

学 校 名	性 別	受 検 対 象 者 数	受 検 者 数 (%)
小 学 校	男	272	272 (100.0)
	女	280	280 (100.0)
中 学 校	男	240	239 (99.6)
	女	244	241 (98.8)
特 別 支 援 学 校	男	39	39 (100.0)
	女	14	14 (100.0)
幼 稚 園	男	37	37 (100.0)
	女	36	36 (100.0)
小 計	男	588	587 (99.8)
	女	574	571 (99.5)
合 計		1,162	1,158 (99.7)

心電図検査

学 校 名	性 別	受 検 対 象 者 数	受 検 者 数 (%)
小学校1年生	男	45	45 (100.0)
	女	48	48 (100.0)
中学校1年生	男	80	80 (100.0)
	女	85	83 (97.6)
特別支援学校1年生 (小学部・中学部・高等部)	男	13	12 (92.3)
	女	2	2 (100.0)
小 計	男	138	137 (99.3)
	女	135	133 (98.5)
合 計		273	270 (98.9)

6. 保健管理センター月別利用状況

学 生

月別	疾患別 性別	外 科 系								内 科 系						検 査 項 目				そ の 他		合 計	備 考
		創傷	捻挫	打撲傷	刺咬傷	熱傷	皮膚疾患	眼科疾患	耳鼻咽喉疾患その他	呼吸器疾患	消化器疾患	運動器疾患	泌尿器疾患	中毒	その他	血圧測定	心電図検査	尿検査	X線	健康診断証明書	定期心電図		
4月	男 女	2 1	1				1 1			1	3 1	1			8 7	5 3				325 162		346 176	外科系及び内科系の その他の欄は健康診 断相談の件数。 * 定期心電図対象は 大学学部新入生およ び附属学校1年生 小学校1年 男 44名 女 48名 中学校1年 男 80名 女 83名 特別支援学校 (小1・中1・高1) 男 12名 女 2名
5月	男 女						2		1	1	3 2				16 4	3 3				274 153		299 164	
6月	男 女	1 1	1	1	1	1	1				1	1			31 7	3 4				134 84	668 574	839 675	
7月	男 女	1 1	1				1		1	1		1 3			17 16	2 1				201 88		224 111	
8月	男 女														2					24 28		26 28	
9月	男 女								1	1		1			3					23 30		27 32	
10月	男 女	1 4	1	2			2		1	1	3 2				3 4	2				11 27		22 42	
11月	男 女		1	2				1	1	4		1 1			5 4		1			13 11		29 18	
12月	男 女	1 2	2						1	6 1	2 2	2 2			2 2					3 7		19 15	
1月	男 女	2 2	1 1				1		1	1 1		2 2			4 6					11 3		22 17	
2月	男 女	1 1								1										16 53		18 57	
3月	男 女		1												2 2					181 97		183 100	
小計	男 女	9 9	5 8	3 2	1 0	0 1	5 4	0 0	1 3	3 2	16 4	8 3	10 14	0 0	0 0	93 55	15 13	0 0	1 0	0 0	1,216 743	668 574	2,054 1,435
合 計		18	13	5	1	1	9	0	4	5	20	11	24	0	0	148	28	0	1	0	1,959	1,242	3,489

職 員

月別	疾患別性別	外 科 系								内 科 系						検 査 項 目				そ の 他			合 計	備 考	
		創傷	捻挫	打撲傷	刺傷	熱傷	皮膚疾患	眼科疾患	耳鼻咽喉疾患	その他の	呼吸器疾患	消化器疾患	運動器疾患	泌尿器疾患	中毒	その他	血圧測定	心電図	尿検査	X線	胃検診（ABC検診）	便中Hb			定期心電図
4月	男女														2	1								30	外科系及び内科系のその他の欄は、健康相談の件数。
5月	男女								1						1									20	
6月	男女										1				1	2								40	
7月	男女							1				1			7	2						324140	334141		
8月	男女																						00		
9月	男女								1				1			3						324507	328509		
10月	男女				1											76					173111		181117		
11月	男女	1														2								13	
12月	男女															21					4348		4549		
1月	男女															11								11	
2月	男女								1			1				3								53	
3月	男女															1								10	
小計	男女	10	0	0	1	0	0	0	1	1	1	2	1	0	0	28	5	0	0	0	43	173	648	905	
	男女	0	0	2	0	0	0	1	1	0	0	0	3	0	0	10	0	0	0	0	48	111	647	823	
合 計		1	0	2	1	0	0	1	2	1	1	2	4	0	0	38	5	0	0	0	91	284	1,295	1,728	

月別医療機関紹介状数（学生・職員）

月	男	女	総数
4 月	6	4	10
5 月	15	2	17
6 月	21	2	23
7 月	10	13	23
8 月	2	0	2
9 月	0	0	0
10 月	8	10	18
11 月	1	4	5
12 月	2	1	3
1 月	5	6	11
2 月	2	2	4
3 月	1	0	1
計	73	44	117

その他 英文の診断書 3

Ⅲ 平成30年度カウンセリング報告

平成30年度カウンセラー業務等報告

平成30年度は、専任カウンセラー田名場美雪・高橋恵子、および非常勤カウンセラー浅原奈苗（学外）で保健管理センターの相談活動にあたった。文京キャンパスのほか、医学部本町キャンパスにおける相談活動（週一回4時間）、および附属学校園において週一回4時間の相談活動を実施した。

（高橋 恵子）

1. 月別利用状況（上段は事例数，下段は面接延べ数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計
学部生	24 (46)	13 (35)	14 (46)	7 (39)	7 (28)	10 (31)	16 (31)	14 (37)	17 (46)	9 (35)	7 (33)	11 (19)	149 (426)
学部留年生	1 (1)	0 (0)	1 (2)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (5)	1 (1)	3 (14)
大学院生	2 (3)	2 (4)	2 (4)	4 (7)	2 (4)	0 (2)	2 (3)	2 (8)	3 (7)	3 (6)	4 (7)	3 (7)	29 (62)
その他学生	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
卒業生	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (3)
家族等	1 (1)	2 (2)	1 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	7 (8)
教職員	1 (1)	7 (8)	2 (8)	4 (9)	2 (5)	3 (8)	7 (12)	6 (16)	5 (15)	4 (8)	1 (5)	0 (3)	42 (98)
教職員の家族等	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
附属学校園	1 (1)	0 (0)	7 (12)	3 (5)	0 (0)	3 (3)	1 (2)	4 (5)	0 (0)	1 (2)	1 (1)	0 (0)	21 (31)
新規事例数計 相談件数合計	30 (53)	24 (49)	27 (73)	19 (63)	11 (37)	16 (44)	28 (51)	26 (67)	27 (71)	17 (52)	14 (52)	15 (30)	254 (642)

2. 主問題別事例数・面接延べ数

1) 学部生・留年学部生・大学院生・その他学生・卒業生からの相談内容

	精神疾患	性格・心理・行動	生活全般	進路	学業	対人関係	コンサルテーション	計
人社	4 (12)	18 (33)	4 (8)	4 (7)	1 (4)	6 (24)	2 (6)	39 (94)
教育	2 (2)	14 (54)	5 (7)	3 (10)	2 (6)	6 (19)	4 (7)	36 (105)
理工	8 (15)	12 (73)	6 (20)	2 (5)	7 (16)	5 (15)	0 (0)	40 (144)
医	3 (4)	5 (30)	2 (6)	5 (8)	3 (8)	5 (10)	4 (4)	27 (70)
農生	8 (15)	12 (42)	3 (5)	2 (7)	9 (15)	5 (5)	3 (3)	42 (92)
その他	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
新規事例数計 相談件数合計	25 (48)	61 (232)	20 (46)	16 (37)	22 (49)	27 (73)	13 (20)	184 (505)

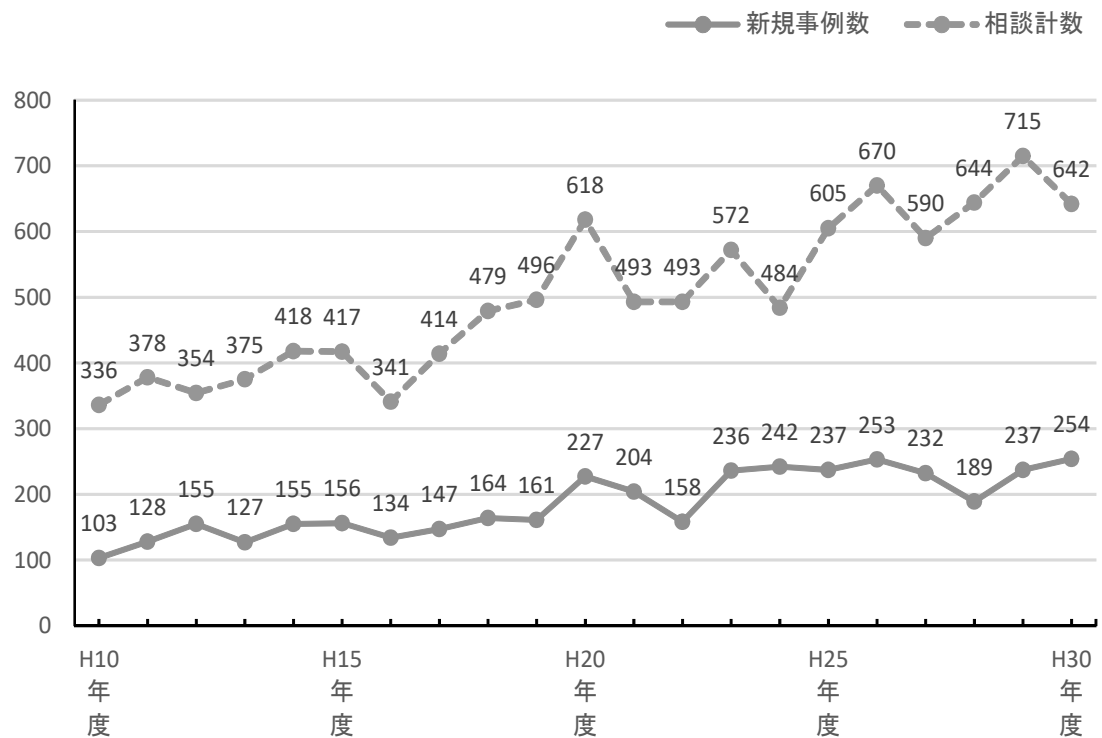
2) 教職員からの相談内容

相談内容	事例数	延べ件数
学生についてのコンサルテーション	28	(69)
教職員についてのコンサルテーション	4	(4)
心身の健康問題	7	(22)
対人関係	3	(3)
その他	0	(0)
合計	42	(98)

3. 相談形態ごとの相談件数

形態	面談	メール	電話	手紙	合計
相談件数	532	68	40	2	642

4. 平成10年度以降の利用状況推移



IV 保健管理センター概況

保健管理センター概況（平成30年10月1日現在）

(1) 保健管理センター運営委員会

委員長	高 梨 信 吾（保健管理センター所長・教授）
委員	古 村 健太郎（人文社会科学部講師）
〃	太 田 誠 耕（教育学部教授）
〃	加 藤 博 之（大学院医学研究科教授）
〃	五十嵐 世津子（保健学研究科准教授）
〃	小豆畑 敬（理工学研究科准教授）
〃	森 田 英 嗣（農学生命科学部准教授）
〃	萱 場 広 之（医学部附属病院検査部長・教授）
〃	橋 本 美佐子（学務部学生課長）
〃	青 木 昌 彦（医学部附属病院放射線部長・教授）
〃	庄 司 聡（総務部人事課長）
〃	渡 部 明（施設環境部環境安全課長）

(2) 職 員

所 長	高 梨 信 吾 教 授
カウンセラー	田名場 美 雪 准教授
カウンセラー	高 橋 恵 子 講 師
看護師	工 藤 誓 子
〃	嘉 山 恵 子
〃	澤 田 友 美
保健管理担当	成 田 知 子 係 長
臨床検査技師	檜 木 英 子
検査助手	相 馬 亜妃子
事務補佐員	中 川 朝 加

主任学校医	（内 科）	福 田 眞 作	医学部附属病院長
学 校 医	（内 科）	佐 藤 研	医学部附属病院講師
〃	（ 〃 ）	富 田 泰 史	大学院医学研究科教授
〃	（ 〃 ）	蔭 山 和 則	大学院医学研究科准教授
〃	（ 〃 ）	高 梨 信 吾	保健管理センター所長
〃	（神 経 精 神 科）	中 村 和 彦	大学院医学研究科教授
〃	（眼 科）	目 時 友 美	医学部附属病院講師
〃	（耳 鼻 咽 喉 科）	佐々木 亮	大学院医学研究科准教授
〃	（皮 膚 科）	松 崎 康 司	医学部附属病院講師
〃	（整 形 外 科）	和 田 簡一郎	医学部附属病院講師
〃	（外 科）	室 谷 隆 裕	大学院医学研究科助教
〃	（小 児 科）	相 澤 知 美	医学部附属病院助教
学校歯科医		久保田 耕 世	医学部附属病院講師
学校薬剤師		磯 木 雄之輔	弘前市薬剤師会（学外）
兼務職員		横 山 昂 生	医学部附属病院診療放射線技師
学外カウンセラー（心 理 学）		浅 原 奈 苗	

V 衛生管理者等名簿

文京町地区安全衛生管理者等名簿

平成30年7月1日現在

総括安全衛生管理者

	職 名	氏 名	担当部局等
	理事	渡 邊 淳 平	—

衛生工学衛生管理者

	所 属	職 名	氏 名	担当部局等
1	理工学研究科	技術職員	藤 寄 里 美	理工学研究科
	合 計			1

衛生管理者

	所 属	職 名	氏 名	担当部局等
1	保健管理センター	看護師	工 藤 誓 子	保健管理センター
2	施設環境部環境安全課安全衛生室	専任衛生管理者 係長	畠 山 清 孝	事務局
3	学務部教務課	係長	工 藤 良 子	学務部（総合教育棟等）
4	学務部就職支援室・教育推進機構キャリアセンター	係長	松 永 久 美	学務部（総合教育棟等）
5	学務部学生課	調理師	小 林 直 美	学務部（学生寄宿舍）
6	教育学部	教授	太 田 誠 耕	教育学部
7	教育学部	准教授	岩 井 草 介	教育学部
8	教育学部（附属小学校）	養護教諭	中 田 暁 代	附属幼稚園・附属小学校
9	教育学部（附属中学校）	養護教諭	森 菜穂子	附属中学校
10	教育学部（附属特別支援学校）	養護教諭	丹 代 菜 々	附属特別支援学校
11	人文社会科学部	係長	福 眞 吉 教	人文社会科学部
12	理工学研究科	技術職員	佐 藤 勝 人	理工学研究科
13	理工学研究科	技術職員	堀 井 智 実	理工学研究科
14	農学生命科学部	准教授	本 多 和 茂	農学生命科学部
15	農学生命科学部	准教授	金 児 雄	農学生命科学部
16	農学生命科学部	助教	吉 田 涉	農学生命科学部
17	農学生命科学部	技術職員	對 馬 優 聖	農学生命科学部
18	農学生命科学部	技術職員	齊 藤 司	藤崎農場
19	社会連携部	係長	粕 谷 常 好	生涯学習教育研究センター・機器分析センター等
20	附属図書館	係長	長谷川 友 紀	附属図書館・総合情報処理センター・資料館等
21	地域戦略研究所	主任	板 垣 学	地域戦略研究所・新エネルギー研究部門・食料科学研究部門
	合 計			21

産 業 医

	所 属	職 名	氏 名	担当部局等
1	保健管理センター	センター所長	高 梨 信 吾	—
2	教育学部	教授	田 中 完	—
	合 計			2

本町地区安全衛生管理者等名簿

平成30年9月1日現在

総括安全衛生管理者

	所 属	職 名	氏 名	担当部局等
	附属病院	附属病院長	福 田 眞 作	—

衛生工学衛生管理者

	所 属	職 名	氏 名	担当部局等
1	附属病院	専任衛生管理者 主任診療放射線技師	檜 木 聡	附属病院（中央診療棟）
	合 計			1

衛生管理者

	所 属	職 名	氏 名	担当部局等
1	大学院医学研究科	教授	井 原 一 成	附属脳神経血管病態研究施設
2	大学院医学研究科	教授	高 橋 識 志	基礎校舎・図書館分館
3	大学院医学研究科	准教授	柿 崎 育 子	基礎校舎・図書館分館
4	大学院医学研究科	講師	木 村 憲 央	臨床研究棟
5	大学院医学研究科	助教	武 田 育 子	臨床研究棟
6	大学院医学研究科	助教	成 田 浩 司	附属動物実験施設
7	附属病院	助手	北 川 陽 介	附属病院（第一病棟）
8	附属病院	講師	畑 山 佳 臣	附属病院（第一病棟）
9	附属病院	講師	木 村 太	附属病院（第二病棟）
10	大学院医学研究科	助教	松 倉 大 輔	附属病院（第二病棟）
11	附属病院	助教	小 林 完	附属病院（外来診療棟）
12	大学院医学研究科	講師	中 川 祥	附属病院（外来診療棟）
13	附属病院	講師	佐 藤 研	附属病院（外来診療棟）
14	附属病院	講師	丹 羽 英 智	附属病院（中央診療棟）
15	附属病院	准教授	北 山 眞 任	附属病院（中央診療棟）
16	大学院医学研究科	助教	矢 口 慎 也	附属病院（高度救命救急センター）
17	アイソトープ総合実験室	技術職員	齋 藤 美 希	アイソトープ総合実験室
18	大学院保健学研究科	教授	敦 賀 英 知	大学院保健学研究科
19	大学院保健学研究科	主任	鈴 木 亮	大学院保健学研究科
20	被ばく医療総合研究所	係長	熊 澤 祐 樹	被ばく医療総合研究所
21	附属病院本町地区施設室	係長	會 津 利 幸	エネルギーセンター
	合 計			21

産 業 医

	所 属	職 名	氏 名	担当部局等
1	大学院保健学研究科	教授	樋 口 毅	—
2	大学院医学研究科/附属病院	専属産業医	伊 藤 磨 矢	—
	合 計			2

編集後記

春の訪れとともに、弘前大学の保健管理センターには若い学生さんたちはもとより、老若男女の教職員、そして附属学校の小っちゃなお子さんまで多種多様な方たちが健康診断にやって来ます。その人々を手際よく健診していく同僚の働きぶりにはいつも頭が下がります。その数の多さはもちろん、腰を屈めたり、同じ姿勢を続けたり、過酷なスケジュールに、寄る年波の疲労が滲みます。

カウンセラーは一人ひとりの言葉に耳を傾けますが、心の健康は、体の健康があってこそ。専門スタッフの連携の絆によって保健管理センターの日常は支えられます。「死なないでいることがうまくなった。」これはある卒業生からの言葉です。生きてゆくのがうまくなったという人はいるけれど、自分は死なないでいることがうまくなったと静かに呟いたその言葉は今なお胸に響きます。

時代は令和2年を迎えました。気候変動、食の問題、キャッシュレス決済、テクノロジーの進歩など私たちの生活も大きく様変わりしています。そんな分岐点だからこそ、大切なものを見失わない生き方を。大学キャンパスの一隅で保健管理センターは日々、一人一人の心身の健康を支え続けます。

(高橋 恵子)

弘前大学保健管理概要

40号

令和元年

発行編集者 弘前大学保健管理センター
弘前市文京町1
TEL (0172) 39-3128

印刷 株式会社 笹 軽印刷
弘前市本町76-2
TEL 32-7530
